

場より眼の届く限りは皆所有地であつて如何なる處を掘てもです三尺乃至一丈も掘れば多くは二三尺  
から二三丈まではあると云ふ事であります其處で今後日本に於ても人造肥料の重なるものは過燐酸  
でございませう此事う段々と發達するに従て殖へるてあらふと思ひます此十二月一日よりして肥料検査  
法が實施されますか其監督の重なるものは何にりと云ふと過燐酸が九分九厘と思ひます其處で過燐  
酸の原料は燐礦でございませう今日世界の貿易品となつて居ります燐礦は凡そ七種八種位をかなひ夫  
で凡そ二割五分から四割までの差がある歐米では一つの會社でも三種や四種の過燐酸を造つて居らぬ  
處はない過燐酸に造りますから向處は成分賣買で燐酸分に對して矢張り高く賣れて參りますから向  
日本の過燐酸と云ふものは之を使ふ大部分の人か過燐酸は一つのものであると云ふ觀念を以て居りま  
すから今日日本の過燐酸を製造する處之五ヶ所で東京に三ヶ所大坂方面に二ヶ所あります孰れも一  
と色の過燐酸を作つて居る實に情けない故に燐礦を買ひましても農家に供給が出来ぬと云ふ有様でこ  
さいませうから其燐礦でございませうは泥を交せて居ると云ふ有様でございませう故に諸君は泥の爲め  
に二割の運賃を拂つて日本の程度より未だ低いから止むを得ませぬか私は春以來日本で販賣して居りま  
すもの數十品を分拆としましたか夫に依りますと日本の賣ります過燐酸は燐酸分加重にございませ  
う少さは二割多さは二割位までの差がありますから一寸同き過燐酸でも倍程値打ちの違つて居るものか  
賣捌かれて居る極端の話は兎も角も極々普通の場合に於ても燐酸分の三や四の違は幾らも今日はあり

ます燐礦の成分が違ひますと何うかと云ふと關東に於ては十錢と見れば宜い十貫目一と臥に付て若し  
三違へは十貫目に付ての値打ちの差は三違へは三十錢であります此過燐酸と云ふ一ツの品物であくま  
て濃厚なるものゝ世の中に行はれる様にしたいと思ひます肥料は過燐酸に限らず善い品物ほど農家は  
使つて得であります代價も同じ運賃も同じ商人の取ります口錢も同じであります濃厚にして價の高  
ひ程夫程農業上却て其方が利益があると云ふ有様であります遠州の如きは緋ノ糟の一等品なれば交せ  
物かないから一等の品物より使ふ之は極端の談でありますか十二月の一日からは皆一俵毎に成分証明  
表が付きまして此品には過燐酸からは百分中幾らの燐酸があると云ふことを諸君は來年からは安心を  
して御買成さる事か出来ませうか世の中には危険を冒す商人もあると思ひます殊に日本人は夫り特  
長でありますから……關東の一府八縣から点々依頼分拆がありますか燐酸の依頼分拆は一ヶ年に二十  
点二十点でございませう私は例之は肥料検査法が實施になりましたも日本人の如く詐偽手段に富んで  
居る世の中に於ては仲々油断は出来ぬと思ひます郡農會あり縣農會なり澤山使ふ地方に於きましては  
村農會なり一年に一廻り二遍位は農事試験場を煩はしまして分拆とて一般の農家に示すことか肝  
要であると思ひます夫りして最う一つ御話をする事は調合肥料で學問を少しくなさつた方は斯う云  
ぬのです肥料は其土質氣候作物に燐酸を配合すべきものであると斯う云ふ成る程其通りである此肥料  
を使う農家は一村の中には幾人かある茨城縣の如き農學校の普及して居る處でもあると思ひます左う

云ふ農家は向つては窒素燐酸の配合を甘くやらふと云ふ事は六ヶ敷いと思ひます獨逸に於ても窒素の配合をして……殊に亞米利加英吉利へ往きますと其調合肥料は盛でございまして我々が日本に居つて開て居つた処の比較ではございませぬ金肥の大部分は皆人造の調合肥料でございまして是等の如きも肥料検査法が實施されてから斯う云ふものも西洋に於ては随分盛てありまして決して開明國しやと云つても左う甘くも往きませぬ矢張り倫敦や巴里に往つても乞食の居ると同去て小作人に至るまで窒素とか燐酸とか云ふものを農家に分らせる事は今後五年十年では日本の如き後進國にありましては六ヶ敷い學問の卒先者たる獨逸の如きも斯くの如く調合したものでも夫れ相當の値打ちありは宜しいと云ふのでありますから……夫から最う一つ段々農家の金融に付きまして諸君も信用組合と何んとか云ふものを御起まになつて居りませうか私は今日農業の流通資本に困ります様な地方に於ては窒素とか燐酸とか云ふことを講ずることは未であらふと思ふ今日の急務は毎年農業を致します処の資本位は何うか斯うか人に厄介な掛けぬ様にならぬけは日本の農事は改良が出来ませぬ肥料を買へは關東ても何処でも肥料商人から借りますと商人の何うでございませうか農家に一割以下の利息を見込んで貸付ける者はありませぬ一割以下では確りな抵當があつても借りられませぬ東京當りの銀行でも……況んや肥料を貸すに於ても利子を見込んで賣らない商人はございませぬ一割以上の利子を拂つて肥料を買込んで無暗に農業をする事は考へなければならぬと思ひます是等を等のごも成るべく各農家が持つ

て居つて現金で買つて肥料商人から買はぬやうになりましたならば農家の經濟も善くなりまして改良進歩の實も上かると思ひます私共能く出張を致しますか此席に於ては第一に農家の經濟と云ふ処に着目するが適當であると云ふことを毎々感えます北海道の農業は金融の道と付けてやらなければ如何に盡力をして改良進歩は六ヶ敷い小作りの多いのであります小作人が貧乏でございまして信用が出来ませぬ之で御免を蒙ります

◎我國織物業に就ての希望

東京工業學校教授 岡本金一郎君 演説

私は只今御紹介を受けました岡本でございませぬ私か御話しませやうと思ひます事は茲に掲げてあります我國乃織物業に付ての希望でありますか御關係のさい諸君も多數御出での事を存しますか暫く清聴を煩はします

御承知の通り我國の工業は最近數年間に著るしき進歩を致して居ります其工業の中で進歩の度合から云つても仲々に著しきものでありますし又現今最も有數のものに數へられて居つて將來亦最も望を屬すべき工業は何にかと云ふと私が見る処で織物業及び之に關聯する処の事業一口に云へば纖維業に指を屈せぬければならぬと思ひます織物業が年々産額を増し輸出額の増したとは申すまでもない木綿紡績業は何うかと云ふと之も非常な發達であります夫から生糸は何うであるかと云ふと工業品中に

は數へられてはありませぬか乍併農産物としては人工を加へるものが多いものでありまして詰り工業の中に數でも差支ないと思ひます殊に今申した纖維業に含まれて居りますものてありませぬ此の如く此生糸も我國の重要輸出物の中で最も重要である事は今更申す迄もなく斯く之等の纖維業の中に數へべきものは孰れも現今隆盛の地位を占めて居る者であります我國の富を増すべきものは種々あるてありませぬやうけれども先づ最も望を屬すべきものは纖維業に在てあらうと思ひます從て此纖維業に従事して居る人々は此業の爲めに振つて盡き又此業に依て我國の富を増すと云ふ考を以て進まなければならぬのみならず國民とては此業の爲に力を添へて往くなければならぬと思ひます扱ひ此纖維業の中で工を加へる事の多いのは何んであるかと云へば織物であります夫て我國の經濟上から云へば此織物に最も力を用ゆることは甚だ利益あります然るに我國の織物今日出來て居る織物で着目すべき輸出織物は何にうと考へますと羽二重甲斐絹であります然るに此羽二重甲斐絹と云ふものは多くは白の儘海外に輸出を去て輸出先で之に染を施し又は仕上げを施して需用者に供給して居ると云ふ情けない有様であります殊に又品質が兎角揃はぬ或は又原料が充分甘く其出來ないと云ふ様をことと屢々此需用地から苦情がある批難が絶へませぬ又聞く処に依れば佛國では近頃我國から輸出する羽二重と……羽二重を自分の國で製造する目的を以て試験織をして今日では畧は成功したと云ふ事てあります又亞米利加は何うかと云ふと近來は「プレー」を名付くる織物が盛になつて此品は羽二重よりは割合安へ

やれると云ふのを以て非常に亞米利加の嗜好に投合して需用が盛になつて來ると同時に我國から輸出する処の需用を減すると云ふ様な有様であります尙ば聞く処に依れば亞米利加の商工業者なるものは斯う云つて居りますやうであります日本の羽二重は以前より輸入して居るか何うも今日まで改良の点を認むることが出來ませぬ又羽二重に向ても信用を置て取引が出來ぬと云ふ様な事を云ふものがあるやうであります實に之は我々憤慨の堪へませぬことでありますか乍併退て考へますれば又少しは事情があるやうと思ひます之を思へば我國の織物業の進歩發達は殆んど數量が増加したと云ふ上にのみ存て居つて殘念ながら技術の上に於て誇る事う出來ませぬ寧ろ織物業の前途は怪しいと思ひます誠に我國の織物業の欠点を擧ぐれば第一に技術が精妙でない第二に織物の改良が遅くて外國の進歩發達に伴はぬこと第三に品質が揃はぬこと第四は整理が充分に出來ぬ爲に織物の光澤其他外觀の悪るいは是等もなる欠点であります其原因は如何なる處に居るかと云ふと御承知の通り我國の織物業は今日では未だ個人的工業に屬して居つて工場組織になつて居るものか極めて少ないのであります個人的工業である又手機をやつて居る次第でありますから到底品の揃ふ筈かないよし充分に品を揃へるにしても誠實なる事は到底望むべからざる事てあります殊に機屋を機屋とは値段の競争をする甲か千圓で引受けるものなれば乙は最う少し安くしやう丙は尙ほ一步安く引受けやうと段々値段の競争をして到底引合はぬと云ふ處から遂には製品を粗悪にし段々押し移つて遂には得意の

信用を失ふやうになりす其上機屋小さいから多量の資本を要する処の仕揚げと云ふ様な処は迎も充分にやる事は出来ませぬたからして織物の原料は例之良い原料を造つても却て悪い原料を造て海外でやつて居る品に劣る様な結果が来る然らば之を救ふには何うすれば宜いかと云ふと今日の個人的工業をよして工場組織にすることは誠に善い話であるけれども従來の習慣として俄かに工業組織に造ることとは仲々容易に出来ませぬ又工場組織にするに付ても能く考へなければ種々なる事情があるてあらうと思ひますたからして勢ひ個人的工業を以て品物を揃へ品質を崩さないやうにせぬけばならぬたらうと思ひます之をやりすには私の考へては營業組合を設けるか一番宜からぬと思ひます今日各地の織物地では織物業組合が設けられて居りますか私の申します營業組合は之とは稍や趣きを殊にして居り詰り此營業組合は羽二重ならば羽二重の組合と設けて其組合に事務所を置いて其事務所か中心となつて注文を取るのと事務所で注文を取る左うして其処で糸を買ふにも事務所で買ふ染めるのも協同にして染める暨て糸も左う云ふ風にしてやると云ふ風にして機敷に應じて分配して織らせる横糸の打ち込の如きも約束をえてやらせる斯う云ふことにしてやる又機屋は夫を引受けた処で之を織り揚げれば其処で検査をして左うして事務所では合格したものも仕揚げ機械を据へて之を仕揚げを施して之を相當の商標を事務所か打つて注文者に引き渡すやうにすれば例之個人的工業でも品物を揃へて織る事が出来る又仕揚げも一緒にやりすから充分に仕揚げ出来るす即ち前の欠点を除くことか出来るかと考へま

す夫に又私も尚營業組合に向て望みますとは出来る事ならば營業組合事務所に技術者を置いて又相當の工場を据へ付けて其工場を以て始終外國に後れぬ丈の試験織をやつて往く様にしたいと思ひます其処で以て試験をして外國に向く品は何う云ふのう向くとか云ふ試験をえて其結果を組合一同に報して其試験の結果の善いをやつて往つたならば此仕事を進める上に於て利益があると思ひます併し此事は随分困難の事であつて仲々費用が嵩んで到底此組合斗りて支へるとは云ふへくして行ひ難ひとてあらふかと云ふ疑も起ると思ひます併し私か考へますには此試験織をすると云ふ仕事は之は其組合員に斗り任して置ては到底出来ませぬから我國の利益を増進すると云ふ上から云へは何うしても一地方なり又國家なりか之に相當の補助を與へて宜いと思ひます近頃此織物の試験所を起すと云ふ説は已に農商務省當りてもあると云ふとを屢私なども耳に致します詰り私か述べた様な事をするには試験地を置くのでありますから之に向ては地方なり國家なり相當の補助をするより正當のとてあらふと信するのてあります併し之は私一個の考て國家か之を許すや否や又地方か許すや否やは分りませぬか之は私の考を述べたのであります兎に角營業組合を起して今まで拵へて居つた品物か同一に出来之に向て充分の手工を施して海外輸出の道を計ることは之はソナに費用を要することはなく實際に營業組合を設けて往たならば宜いたらうと云ふ考を以て居りますて私の述べた様と思ふことは斯様なことて實に諸君の清聴を煩はしませ

◎養蠶業の普及に就て

東京養蠶講習所技師農學士 本多岩次郎君演説

私は只今御紹介を受けました本多でございますが今回玆に掲てあります處の蠶業の普及に付てと云ふ  
 題に付て少しく清聴を煩とします乍併蠶業普及と云ふやうな事柄は私共か御話をするてもなく充分諸  
 君等の中に於きましては百も合点の事柄でありますけれども乍併今日養蠶業を段々擴めます上に付て  
 少し私共が考へまゐたる点がありますからして其点をさつと語らぬ御話をしたいと思ひます元來此  
 蠶糸業のことは諸君等も御承知の通り本邦に於ては重要物産たる織々たる生糸も日本の命脈と繋ぎ彼  
 の軍艦一發千金もする大砲も蠶糸業から生み出して居ると云ふことは誰も口から云ふことであります  
 然るに其蠶糸業の今日の状態は如何でありますかと云ふと誠に欠点が多々あるやうに考へられます  
 蠶糸業の今日の有様又過去のことには付きまして考て見ますと今より丁度十二三年前は明治二十年頃は  
 殆んど蠶糸養生系及其他の屑物の輸出品が四割以上五割も占めて居つたのでございます然るに昨今の  
 場合にあつては如何にと云ふに昨今輸出品は段々輸入も殖へて來ましたが夫に従て輸出も殖へて來た  
 乃でありますが生糸の如きは三割何分甚たしきは二割何分一か占めて居らぬと云ふ有様であります處  
 が二割三分なり三割何分と云ふ生糸の輸出は生糸と云へは其通りでありますけれども繭物と變形して  
 外國に往つて居る方は殖へて居りますが其有様を調査をして見ますと矢張り夫と生糸業に合計をして

も今日の処では輸出の總額に對して四割前後の額に達して居ない斯う云ふ様な有様であります其  
 他總ての物産と云ふものと思ふと輸入品と云ふものは漸々増加するにも不拘蠶糸業から生し出した増  
 加は甚た少ないと云ふなければならぬと云ふ有様であります此少ないと云ふ有様に付てと色々の原因  
 もありまじやうと思ひますが此機關組合其他の事柄に付ても各種のものから集つたものと思ひますが  
 先の私が今日御話しやうと思ひますのは大體養蠶業をやります處の組織及び其方法に基いて御話をす  
 る積りであります處で蠶糸業と御承知の通り何う云ふものから成立つものであるかと云へば即種屋製  
 糸家養蠶家即ち糸繭を採へる只の普通農家のやられまする蠶を飼ふ事と此三の業が相集つて蠶糸業が  
 成立て居ることは諸君等も充分御承知でございますやうが處て此三つの業を一樣に發達をさせぬけれ  
 とならぬことも御承知でございますやうが他の二業に付ては今日は暫く置て養蠶業の糸繭を取ります  
 普通農家の糸繭業に付て少しく御話をしやうと思ひます此養蠶業の中には何う云ふものから成立て居  
 るうと云ふと之と充分に分り切つたことでありまゝて四つの要素から成立て居ることは分り切つたこ  
 とであります桑葉に夫から蠶種夫ら飼育夫に蠶室蠶具と此四つの業務であることは分つて居ります  
 が此中の桑葉に付て今日まで其甚た注意をするものが少ないのであります只蠶は桑でなければ食はぬ  
 から桑でさへあれば宜いと云ふ考を以て桑でありさへすきは飼へると云ふ考が染み込んで居るやうな  
 有様であります然るに桑に付ては之は余程注意すべきことであつて何う云ふ桑でも桑でさへありさへ

すれ之蠶に宜いと云ふものではないのみならず桑には固より同じ葉であつても滋養分の余計ありますのど少ないのとは無論ありまして之は諸君も御承知の通りのものであります。左う云ふ有様で桑てさいあれば宜いと云ふ考を以て蠶を飼ふ人が随分多くある其他桑に付ても各種の注意すべき点がありますが今日の処ては桑の品質に付て余程注意をせぬければならぬ事柄と思ひます。夫から蠶室蠶具のことに付て之は又色々の構造とか色々八釜しいことを今日地方で云つて居る処もある又研究もし居ります。処もあります。蠶室蠶具は決まて普通の養蠶業に取りまては糸繭を製造するのが主眼でありますれば蠶室を立派に建てるの必要はない又蠶具の立派のも要らぬ立派な蠶室で蠶を飼ひ左うして世間に誇る必要はないのである。左うして蠶室と云へは無論自分の居所を當て、宜ま普通の居所ては空氣の流通或は悪い風を排除して往く方法がありませぬ場合には其排除の方法を設けた上に空氣抜きを設けるとか云ふ都合にまて只普通の居所を之に當てると云ふだけで以て今日の糸繭製造家には澤山であると思ひます。夫から此蠶種此蠶種にして之は一口に二足三文の種子と云ふ悪口もある通り種屋も随分悪いことを致します。やうてあります。夫から此種に付ては余程注意をせぬければならぬ。今日まては充分に種は善いものと思ひましても普通箱を脊負つて來ます種屋から買ひますれば充分の種を買ふことが出來ぬことは御承知の通りであります。が又一方には養蠶家の悪いことは最初種子を貰つて其豊凶如何に依て種子代を拂ふと云ふ養蠶家の心得が宜しくないとと思ひます。養蠶の種は収入の上から云へは極く僅

かてある養蠶の諸入費と云ふものを調へると御承知の通り桑代が一番余計掛つて居ります。之が大體が桑代が六分若くは五分五厘又は桑代に掛る其次には人夫賃が三分前後掛る種子や其他の諸雜費が一部前後であります。其一部前後の僅りの入費一部分の種代と成るべく安い種を買はんとするくら自然種屋に於ても出來る筈がないからして粗悪の種子を代を安くまて買らんと云ふ方法を以て製造を致します。から従て種子の善いのを得ることゝ出來ませぬ故に養蠶家に於ては種代は倍掛つても宜い充分に精選したる種子を買ふと云ふ方針よせぬと大變な間違が起ると思ひます。處で種の善悪を見分けると云ふことには付ては之は逆も一寸見ても普通の養蠶家では甚だ困難の譯である。夫てあります。夫から此種の善悪と云ふものは云ふ必要はない。今日は種の善悪を云ふ必要はないから種屋の善悪を分けるやうにせぬければならぬ。何の某であれば宜いと云ふ信用をまて買うやうにせぬければならぬ。即今日養蠶家が種子を買ふには種其物の善悪は暫く措き其製造人の性質行等に付て調査をして御買にならぬければならぬ。此点が今日は一番種子を得るに於ての最も肝要の事項と考へます。夫くら今度は飼育術でございませすが飼育術に付きましては非常に八釜しく云へは八釜まて又簡略に云へは左う六ッ敷ものでない。只蚕を太どらする繭を造らせると云ふ單純の事柄であります。が一番飼育術に於て今日八釜しく云ひ人も云つて居るのは必竟するに術の外に又違算を來す處の原因があります。其原因は何かと云ふと今日の有様を通觀致まますれば詰る。処人夫賃に對する掃き立て枚數が多いと云ふこと之が即ち違算を來すので夫さへ注意

をすれば飼育中は何にても宜い蠶の數に對して人間が……手間が余計あるのが一番蚕を飼ふ上に於て大に安心であると御心得になれば安心であらうと思ひます毎度私は各所に於て御話を致しますが養蚕家と申しますものは何處に往て見ても御天狗であることは誰も云て居る夫は實である左うして充分なる飼方をして居らぬ左うして違算を失敗すると何うするかと云ぬと夜中川の中にホーリッ込む……水葬をして土を堀つて土葬をして外から又種子を以て來て飼ふのです之が本より随分あるのであります夫ですけれども出來上つてから何うかと云ふと其失敗つたる處の人間は之は自分か腕が悪いで失敗つたのでなくて自分は非常に熟練をして居る積りで居るのが養蚕家の通弊である即ち養蚕家は詰り天狗連の組織になつて居る處が其天狗なるものが……其天狗には東京の岩谷の天狗からは青天狗赤天狗金天狗と云ふのがありますが養蚕家の天狗には二た通りあります其事は曾て御話もしたと思ひますが其天狗は何う云ふ天狗かと云ふと一つの天狗は斯う云ふ鼻の天狗(圓く高さ鼻を畫て示す)之を稱して大僧正と云ふコツチのを(高く尖りたる鼻を圖して)烏天狗と云ふのです此二つの天狗が養蚕家にあります此二つの天狗があります此天狗のやり口は何うかと申しますと此圓みの付て居る鼻の方の天狗は蠶を飼つて失敗ると之は三眠の時分に濕氣を食はせてあるとか二齡の時に桑をやり過ぎたとか或は一眠の時に空氣が乾かき過ぎたからとや放任をしたからであるとか云ふことを會得し充分自分も其事に注意をして來年に向て研究をするとか云ふ念慮を起すのが大僧正である然るに之と違ひました處の未だ鼻

の尖つ居る烏天狗は何うかと云ふと失敗ると何うかと云ふと之は種が悪い種が悪いから本年は失敗つたとか種子も悪むと云ふ己れの居ない時分に余計に桑をやり過ぎたとか悪いことを外の人に歸して仕舞つて自分さへ居れば斯う云ふことはないとか種子や人に其罪を歸して少しも考ないで皆罪を種におつ付けて仕舞ふと云ふやうな有様であります夫でありますから此天狗さんは余程將來に於きましては皆様がとん／＼鼻を敲いて其鼻を丸くしてやる方針にならなければならぬで此鼻の尖つた天狗が失敗ると云ふことは一つの飼育の枚數に對して人夫賃が少ない即ち人手間が足らぬから失敗るのであります夫で充分に人手間あり餘つて居ればドンナ烏天狗でも蚕は斯うするものだと云ふとを聞かす人にも立派の繭を得られます夫でありますからさて養蚕をやり初めた斗りの人は善い繭を取ります例之今日或る處に於て立派の養蚕家があると夫より今度は養蚕をしやうかと云ぬ僅かの蚕に三四人も掛つて手を出してやれば隣りの立派な養蚕家が取つた繭よりも善く出來る其處で養蚕は易いと云ふから余計の種紙と飼函と云ふことになるけれども今度は二進も三進もいかす非常な失敗をするとか云ふことになりませう丁度養蚕をしますには最初は豊作をしますが之からづつと不作を來たし豊作をしたり去る例の鼻の丸い天狗になつて來るのであります處で今日の養蚕家を見れば多くは此當りに(天狗を指して)徘徊して居るのです最う此處に來て居る養蚕家は指を數へる方で無論茲に御出での方は丸い方の御方々斗りでありませうがアナタ方の近傍に居るものは斯う云ふものだと御認定あつて將來に於て

は是等の鼻を叩いて充分に丸くするやうに願ひたいと思ひます夫から此養蠶の事柄は今御話をしましたる四つの元素より成立つて飼育が行はれるのであります行はれることでありますから此四の事柄に付ては大体さへ充分に會得しますれば細かなことは御注意の必要はないと思ひます普通の糸繭製造家お於ては左う云ふことでありますうら養蠶は六ヶ敷ものたど云ふ觀念はないのであります随分処に由れば養蠶は六ヶ敷からして何うも養蠶は出来ぬとか養蠶は斯う云なけはならぬ一匹の蠶も殺してはからぬと云ふ話をする處もあつて養蠶業は非常に困難であると云つて居る處も随分ありますけれども乍併種屋としては注意する点はありますが普通の種繭家に於ては立派な繭を取るよりは經濟的の繭を取るやうな方針を取らなければならぬ處で養蠶業は此四つのもを知つて養蠶家になるので此養蠶業に付ての希望と立派の種を拵へるが爲に澤山の桑園を以てする必要はない普通養蠶家に於ては戸毎に蠶を飼つて一枚でも四分の一ても宜いから戸毎になさる方針を取らぬければならぬ處で以てです茲に今日最も注意をせぬければならぬことは其儘の養蠶として利益を得ることであるから先づ蠶を飼ふと云ふ事は種は選ばなければならぬ人間もなければ蚕は出来ませぬ織物の如きは人間に依る處もあつてやうければも或は機械で以てやると云ふやうな都合で機械力に依りますか乍併養蠶業は機械に依ると云ふことは甚だ少なうございますうらして何う云ふても人間を省くと云ふ方針を取らなければならぬ處で今日の人夫賃は何ううと云ふに人夫賃も色々ものを取調を致しましたら全國平均で養

蠶の人夫賃と云ふものか明治二十年には男が十四錢八厘全國を平均して二十五年には十七錢三厘三十年に至つては二十六錢八厘二十年から見ますれば殆んど倍の人夫賃になつて居ります女にして二十年には九錢七厘廿五年には十一錢九厘三十年には十七錢一厘と云ふ都合で之又殆んど倍の人夫賃に上つてゐると云ふ有様で左う云ふやうな有様でありますからして將來此養蠶を營むに付きましては澤山の人夫賃を使つてやることは余程經營を善くせぬければなりません收支償ふことは出来ませぬから人間を省くと云ふ方針を取らなければならぬ或は四齡五齡にあつてから其近傍に雇ひ得る処の人があれば宜い若し左う云ふものなければ人間に對する丈けの種紙を掃きまして蚕を買ふやうに云て安するやうな方針を取らなければならぬと思ひます此繭の産額に付きましては今日は製絲の釜數から此ふれば少ないのであります製絲の釜數に對して歐羅巴でやります處を見ますと十六貫か十七貫の生絲を拵へて居ります一釜に對して……日本では何の位製造するかと云ふと諏訪當りの随分盛に引きます處の製絲家斗りを拵せ……一年に九貫目平均全國を平均と云ふと釜に對して六貫目の生絲が出来ませぬ左うですから繭の産額が倍になりました處う今日の製絲家で充分に糸にすることが出来ず夫でありますから今日の製絲の釜數と繭の産額が釣り合つて居らぬが爲めに製絲家の方でも繭を得ることが出来ないからして固定資本で長く運轉して居られぬのでありますから日本に此繭を殖すと云ふことか蠶業に對して一番の急務であると思ひます夫から今御話をした如く養蠶は農業の副業とし



てやるべきものでありまして身体の丈夫なるものは充分耕作に堪へるものは畑に出て農事として跡に残つて居るものが養蠶業をすると云ふ風にやるべきものでありますから戸毎に於て決して養蠶を澤山にすることは出来ませぬ戸毎に養蠶をなまえて養蠶に於て桑も充分にあつた場合には秋蠶を飼ひ或は場合に依ては夏蠶も飼ふと云ふ都合にまて年中の平均を能くするやうにせぬければならぬ一度に余計取ると云ふとは今日收支償ひませぬからして語り普通養蠶家は副業と云ふ則りを離れぬやうにまて成るべく人手間を掛らぬやうにして二度なり三度なり年内の平均を能く取らぬければならぬ是れ等は將來に於きまして養蠶業奨励の上に注意をなさる点であらふと思ひます左う云ふ都合にして發達すれば今日より繭にすることは六ヶ敷いことであると思ひます此縣などは承はりますれば随分原野もあることとありますし土地も適當に見受けます大概の処は栽培の方法を違ひさいしなければ繁茂をせぬ処はないのです夫てありますうらして桑は成るべく荒蕪地の処に植へて差支ありませぬからして左う云ふ処に植へて其葉を以て蠶を飼ふやうな方法を取つて養蠶業を廣く普及すると云ふことは今日一番必要のこととあります一郡の中に澤山に蠶を飼ふものがあつて少數の人で多の繭を取るよりも少しついでも戸毎に取ると云ふ方が國家の經濟に取つて得策の事柄と思ひます新らしく養蠶場を開くに於ては無論其処に於て養蠶家と奨励する人を拵へなければならぬ又奨励する上に於ても余程困難の點ありますから余程御注意にならぬければ奨励をままた処り普及することは出来ぬと思ひます繭の如きも賣

つてやると云ふ風にまてやらなければ随分安く買われるグツ／＼して居ると蝶か出るからと云ふ処りら安くも賣つて仕舞ぬと云ふやうなこともありますうら左う云ふことのないやうに一部落なり一村なぞに一人あり二人なりの巡廻教師を兼ねても宜いから其養蠶の世話役を設けて其世話役は出来ましたる処の繭を乾燥して適當の時期に賣つて左うして銘々に繭を安く高く賣らせることを防ぎ養蠶を普及させます上に付ても最も必要である夫てありますから今日の場合養蠶業の普及を計るには鼻の丸い天狗を澤山と拵へると云ふことは出来ませぬから烏天狗でも宜い漸々に大僧正となり安心の業務になりますから將來に於ては重要な物産でありますから其點に付ては此奨励の方針を極をなればならぬと思ひます甚だ詰らぬことを御話致しましたが三十分と云ふ豫定で出ましたら今日の御話は之て御免を蒙ります

◎家畜の統計及衛生に付て

農科大學教授獸醫學博士 須藤儀衛門君 演説

私の演題は家畜の統計及衛生と云ふこととあります誠だ乾燥無味の問題であります諸君の清聴を煩すのは甚だ御氣の毒いやうを譯であります問題が家畜の統計と云ふので馬か何頭牛が何頭豚が何頭と云ふのであるのてございまして何うも統計と云ふことは極く必要のことである總て此事業の盛衰・國家の進歩とは悉く統計の上に現はれて参りますから總て統計と云ふことは出来得るだけ精細にしなけ

れはならぬことは私か云ふまでもなく殊に此歐米の家畜の統計は余程重きを置かれてあります先づ國  
 の強いと云ふことを云ひ現はすには軍艦か幾艘と兵隊が何んは—とか何れ程富んで居るか云ふこ  
 とを現はすは輸出入の貿易が如何程と云ひます但其次には家畜の頭数が幾らと云ふことが載つて居  
 る我國は家畜の統計は至一少ないけれども夫ても矢張り國の富の一部分をなして居る其統計の上に於  
 て段々考て而して何を程までに獎勵をせぬければ行ぬとか何う云ふ風に改良をせぬければならぬと云  
 う方針を極めなければならぬのであります何うも我國の家畜の統計に付ては余程疑はしい処がある  
 のてありませす馬の方は暫く置きまして牛の方に於て統計を調べて見るとすな—生る頭数は年々斃  
 死及び屠殺の頭数より余程少ない此比例を以て往けは何うしても二十年も立ては牛がなくなれば  
 ぬならぬ譯になつて居る一寸茲に其例を挙げますれば斯う云ふ譯になつて居ります屠殺及び斃死之は  
 をケ年間の屠殺及び斃死の頭数でございませすが牛丈けが丁度五ケ年間で凡そ九十四万五千頭生れたの  
 が六十五万二千頭強にあつて居ります其差を見ますと二十九万五千六百五十二頭と云ふ丈け減つて居  
 るのです全國の頭数が百二十万斗りてありますから五ケ年間に三十万頭つゝ減つて往けはすな—十  
 五年立ては九十万二十年立ては百二十万頭遂になくあつて了ふ譯であります之は統計を調べれば斯う  
 云ふ様な結果が現はれて來ます処が一方の方にすな—毎年の末に於ける……年末に於ける現在の頭  
 数を調べて見ると減つて居らぬ却て毎年二万頭位つゝ殖て居る夫が何うも甚た不審でならぬで何う云

ふ譯であるか其邊を調べて見ませたが調べが付きませぬ詰り此統計と云ふものが随分粗漏と見へる町  
 村の頭数か明かでないければ從て郡の頭数も明かでない固より郡の頭数も明かでないれば縣の統計も明  
 かでない縣の統計が明かでないければ全國の統計が誠に粗畧にある譯で斯う云ふ前後矛盾するからな統  
 計の現はれるのは其地方人に於ける調査が足らぬのであります馬にも斯う云ふやうな模様が見へるが  
 何うか私の希望する處は地方の牛馬を持つて居らるる方畜産家諸君も又地方の畜産主任の諸君も最も  
 統計のことに委しく力を盡されんことを大に希望するのであります處が此地方に於ける……地方に於  
 ける調査か粗漏と云ふ斗りてない一方から内々牛を這入つて居る何故這入るか云ふと人口の割合に  
 頭数が足らぬ夫て肉斗りてなく牛の皮の需用が多くなつて到底日本に産する牛では需用に應ずること  
 が出來ぬと云ふので内々外から這入て來る其物がツブされるから夫が屠殺の中に這入て居る夫は何處  
 から這入て來るか云ふと先づ朝鮮から多くは這入て來ます公然に這入て來る頭数は少ない余程内々  
 這入るものと見へる此統計の前後不揃を來すのは地方に於ける調査の粗漏と最う一つは朝鮮から牡牛  
 が這入て來る結果だと思ひます朝鮮から這入る牛は詰り日本より安いから這入て來るのではあるが  
 之が何時でも畜産社會に恐慌を來す原因になつて居る御承知の通り屢々我畜産界は彼の牛疫「リンド  
 ルペスト」の爲めに餘程損害を蒙つて居る其直接と間接とを問はず何時でも牛疫と云ふ恐ろしい病か  
 朝鮮の牛と共に這入て來ます現に五六ヶ月前でありませたが長崎に朝鮮の牛を百二十頭でありませた

が獨逸の軍艦が持て這入て來た夫が長崎に上陸をせやうとした處をヤウ／＼喰めさせた處が又神戸に朝鮮より牛の上りまして其中に牛疫に罹つたものゝ澤山あると云ふので神戸では大に驚て豫防に掛つて居ると云ふやうな譯であつて詰り我國に於ける牛の頭数は至つて人口に比えて僅少である且其統計は不明瞭でありましたけれども或は統計よりもモット少ないかも知れぬと云ふ者がありますのであります統計に付ては牛のみならず馬に至ても明瞭を欠きますから之は一層明瞭になりますからに當局者も當業者に希望するのであります

此次きに衛生のことでありますすが只衛生と申しては莫とした問題で廣いのでありますすが衛生の中の家畜の衛生傳染病を防ぐのは必要であるが處が先刻申した牛疫とか齧口瘡とか埼玉縣に流行した炭疽熱とか云ふ方は法律を以て豫防法に極つて居りますから當局者に於ても豫防法も知つて居りますすが世間で餘り氣の付らない事柄で冥々の中に畜産社會に害を及ぼして居るものゝある夫は何かど云ふ私か多年研究をして居るとある夫を衛生に關する事柄として今日一寸御話をせやうと思ひます夫は何んであるかと云ふと家畜の繁殖上に非常の障害を加へるものである夫は傳染性流産家畜の繁殖するに當て流産される程困りますことはありませぬ例へは百頭繁殖せやうとして流産りあれば二割減るとか三割減とか云ふことになる此傳染性流産か世間の入り餘り注意をせぬ確かの統計は分らぬか此病の爲めに蒙る損害は年々大變なことに思ひます年々私も経験ありますか或る牧場に於て當年三十の子

を生れへさせやうと二十頭は流産り爲めに……其時に往つて色々取調へましたり中には食物が原因するとか飲水が原因するとか或る時は川の水上で紙漉きに用いた薬夫を混えた爲めに夫等か流産の原因でありましたやうか先づ傳染性流産の重なる原因は研究の結果に依りますと原因かチャンと極て居るのです其原因に付ては追て申しますか先づ此流産と云ふ事冥々の中に害をされると云ふことを御話せやうと思ひます流産には種類がありまして五六ヶ月立つて起るものもあり早いものもある七八ヶ月立つて起るものもある處り此早く起る處り流産は仲々素人が氣かつたぬ夫り澤山あるものである一寸此處に材料を以て來たからして御目に掛けますか(瓶の中に入れてあるものを示す)單角の牛の腹に出來た者の之は彼是四十日斗り立て居る四センチメートル位のも此である之か何時の間にか流産をして仕舞つた之は馬の方で八十三日か八十日立つて居る子供であります之は豚の子でありますが之が牛の子で四十日經つた小さな子供であります之は僅に三センチメートル位の小供でありますこんな小さい時て人の目に止まらずに出るものか素人には知れませぬて發情の模様か如何にも變てあつた少々休したやうな氣かすると云つて居りました之は極く見易く出る方て夫から流産と云へば外に出なければならぬか腹の中に死んで残つて居るものかあります死んだものか子宮の中に残つて居れば腐敗をえて外に出ることもありますけれども子宮の中か窮屈て出られぬて水分を吸集せられて人間て云ふ「ミイラ」と云ふ風になつて子宮の中に残つて居る之か流産てあれば残つて居らぬければならぬか同じ原因を以て子宮中に

死んだものである之が子宮に在るものであります之は四ヶ月斗り経て居るものである夫からもつと大きくなつて出ました大きくなれば損害も高い種を掛けて出来まゝた子供死んで「ミルック」と澤山取らふとしたものか取れず且つ流産の次には稍もすれば病に掛ることかあります充分の損害を受けるものであります其流産の原因は何にあるかと云ふと茲に書きまゝた傳染性流産は研究に依れば矢張今日多くの入り唱へます處の「バクテリア」である其「バクテリア」は色々あります先づ斯う云ふ單獨に丸いものもある丸いものか幾つもやつて居るものもある夫から單に棒の様になつて居るものもあります先づ此三通りて此黴菌は何處に居りますかと云ふに黴菌は矢張り此牛小屋のある處に潜伏して居つたり又は牛の生殖器の中に潜んで居ることある此の黴菌の三つ中の何れも本當の原因であるかと云ふ事に至つては明かなる答は出来ませぬ何故ならば此三つの黴菌の異つたる熱度に依て出来ませぬは必ず殊にして出来ませぬが此三つの黴菌が同じ温度で死にますから別々に分離が出来ませぬ分類が出来ませぬが三つの中何れか一つであらうけれども三つを一つにして病を認めて居りますけれども此病毒が年に依て盛に發生を致します流産が今年に流行ると云ふ事を申します之を實際に付て試験をしますと例之は此處に一頭流産をした牛がおります左うして其牛の陰部から出ましたもの或は尾の根とか或は不潔のものを取つて斯う云ふものを検査して培養をして染めた牛に注入をすれば多くは其牛の流産をしまして又其牛から出て出ましたものを外のものに移せば又流産をする以前は其原因が分らぬか

らして隣りの牛もやると之は互感を超す感するのである例之は人が返吐を吐く人の物を吐くのを見て又己れも吐氣を催すと夫と同志に流産も向ふに居る牛が流産をするに相對する牛も相感して流産をする之を昔は互感性流産と申して居りましたが之は原因があつて牛から牛に傳はるのであります之は年に依て病毒が發生をする事があります處が盛に流行をしないで緩慢にばつくと發する事があります夫でありますから此病毒は年中潜んで居ると見へます夫て畜産に最も注意を要する事は私の考では何時も清潔は無論でありますが流産があつた場合には適當の清潔法殊に産後の分泌物を唱へますもの或は後と産とか申しますもの之部分を失つたり焼たりする事が必要である又流産した牛をば外に以て往て分離することが極く必要であらふと思ひます之は世間では當り前の様に思ひまして注意深くありませぬから御注意に御話をしたのであります夫から衛生のことに付て御話を致しますと云ふと之も餘り世間で氣付かぬ様でありますが何うも我國の家畜も隨分身體之丈夫の様でありますが弱い處がありますのは此子供の時から消化器が幾分づゝか痛んで居る之か發育を害するに違ない況えて外國の立派の種を入れて夫を日本風に飼ひ立てれば消化器の痛みが酷いと見へます外國種でなくとも牛よりも馬が多いのであります子供の頃から腹を痛めて居ることが著しくあります段々生長をしまして其結果か残つて居りまして例之四升五合の麥を食はせても四升五合の働きはなさす三升丈は消化するけれども一升五合の麥と云ふものは無用になつて仕舞ふ之は餘り極端の話でありますけれども余程消化

器を痛めて居ります其原因を段々考て見ました之も矢張り子供に適當な柔らかな必要なる草が欠乏して居りますからである其草が年々粗悪になつて来る衰へて来るから笹とか茅などを以て養はなければならぬ様になる其処で何うしても馬の様な草を食ふ動物でも消化器が弱いから幾分か消化器に影響を受けて居ることは争うへうらざる事實でございますか之は衛生の點から注意をせぬければなりませんと思ひます此點のみならず他の點からも牧草は今日之を研究して栽培をせぬければならぬと思ひます随分上等の馬や種用の牛が澤山外國から來ますか動物斗り入れましても動物に必要な食物が備つて居りませぬければ動物から出來る小供り悪くなつて往つて思の外宜まくい化け物の様なのか出來ることにありますか何うも草と云ふものを選びまして作らふと云へても出來ませぬ矢張り相應の試験をして何う云ふ草が適當であるとか一町歩に付て何貫目取れる家畜は何れ程あるかと云ふことを研究をえて之を全國へ廣く栽培することゝ急務であると思ひます固より此牧草と云ふ事は専門家で調べて居りますか併し衛生上からは自然調へなければならぬ日本にと澤山の牧草が這入て居りますか併し何うも其熱心家がありませぬ牧草の栽培家がありませぬ牛馬と造る処の基である牧草の栽培には一向冷淡のものであります夫て牧草に付て之大した経験家もない様でありますが併し年來我國に渡つて居りまして先づ外の草より繁殖して居ります草は何うも只今之其標本を御覽に入れられませぬが大抵刈り取りまして短かくなつて居ります茲に草があります之は三番刈てあります(實物を示す)之が三番目に

刈らぬと云ふ處の草であつて之は御覽に入れる程の草であらぬ其牧草の中で我國が尤も繁茂して居るのはチモンス オリチャートクラッス レピトツプと此三種が繁茂して居ります此三種の草でも宜うございすから其種々各地の試験場なり篤志家の田畑なりに於て栽培を力められん事を希望する夫は種々は米亞米利加に云々遣れば幾らでも送つて寄附します夫は又日本に於ても牧草の種は取つて……取りつゝあるのて現に北海道で出來ます牧草の種などは北海道の前田侯爵の牧場から頂きませたこれはオリチャートクラッス牧草で之を蒔きませすとオリチャートの種でありませして夫から之は北海道で盛んに繁茂して居りますチモンスの種でありませす之も矢張り北海道の前田侯爵の牧場から頂戴せられた種であります段々之を夫から夫へと譲り受けて栽培をするが必要と思ひます夫ら此牧草の宜まひのが出來た草と面白いか出來ませす之は誠に妙なものですか(牧草を示す)之は極く上等の牧場から取りませた乾草と燕麥とを適度の分量に於て混合して之を推壓機械に入れて壓搾して丁度大きさを之れ丈けの大きさを作る之を壓搾馬糞と唱へ舂押し付けたる馬の食物此貫目が四百四十五「カラム」あります斯ふ云ふ風は乾草と燕麥とを壓搾すれば運送に便利であります乾草は斯ふ云ふ風にし一之は戦争などの時には最も必要であり舂草や麥を此不整頓に圖つて置きませすよりは分量も極つて居り貯蔵にも便利であるから其處で壓搾馬糞と云ふ便利のもの出來たのであります若し之が出來ませすは戦争の時などには余程便利を興へると思ひます茲に交ちつて居ります燕麥などは御作りにはなりませんか御覽にな

れば分ります我國でも所々方々で作て居ります之は奥羽地方で作りました牧場で作りました燕麥之は外國から参ります濠洲の燕麥之は仲々光澤もあり形も適當に出来て居ります之は北海道で出来た燕麥之は下總の牧場で作つた燕麥此馬に必要な燕麥は作り様に依ては利益のものである之は御承知の通り斯様な食物に段々改めて行かなければ衛生と云ふ事か完全に行はれぬ衛生か行はれさせぬければ上等の動物も出来ぬと云ふ事を只ホンの簡単に御話を致した夫れから大變話か長くなりましたか之は本年今般馬匹去勢法か發布になりました馬の去勢……去勢は馬でも牛も豚も種に成らぬ方は去勢をした方か宜い去勢をせぬのは世界各國去勢をせぬ処か台灣の様な處へさへも耕作に用いずす水牛は去勢をした水牛斗りてありませす我國に於ても畜産の經濟上豚と牛と云ふものは去勢をせなければならぬ之と牧場かあれば牧場に備へて置ても宜いのである極く悪い動物かあれば夫を切る其切る方法も澤山ありませす段々簡単に安全と云ふ点から考へ来て遂に今日では斯ふ云ふ機械を(實物を示して)使ふやうになつた之は只御参考に御目に掛けるので挫切と云ふのです一方は缺て罌丸を占めて切りませすと餘り奇麗に切ると血液が澤山に出ますから切りなうら血を出さぬやうにしたいと云ふ処うら一方に於ては血管を壓搾する之を占めませすと血管か壓搾をしますから切りつ……切り放すのか大變に宜いと云函ので今日は此機械を屢應用を致します之を挫切と唱へませと多數の動物を以て居る方が御持ちになりませすまは便利の機械でありませすうら之と参考までに御目に掛けます其他

色々御話もありませすけれども時間かありませぬて凡そ三十分でありませすから之を演説は止めませす甚た乾燥無味の御話を致しまして大に諸君に御迷惑を掛けました

◎煙草の話

農商務省農事試驗場御展技師 アダムス君演説  
農學士 齊藤萬吉君譯述

エー今日此實業上の中心となつて居られるアナタ方に此處で御目に掛るのは自分の名譽と心得ませす此先き御親みを願ひませす

茲に仲様の御用になつたのは實業上の改良進歩の爲をてございませすから私ば此自分で試せしめたことを之うら少々御話を致しませすコイツカ(乾燥室の雛形を示して)其斯云ふ(黄色の煙草の葉を示して)黄色い煙草を乾燥する小屋の造方キアの雛形で實際の大きさからは五分の一で其小屋と云ふのか丁度三間に三間の家で此邊に壁か立つ様にゐるので此邊か壁になつて焼き口か少し出た處でありませす眞つ四角の家です左うして屋根も直角にかつて二間と三間の小屋で煙草を乾燥する上度々百貫目……八十貫目から百貫目位一逼に……一度に乾燥する二百位に乾燥する一逼の分量……今の黄色いもの御常地の……太田で自分達か作つた煙草でござんす此黄色い煙草は日本では今と出来ませぬ全く亞米利加から輸入してある其分量九十六万貫目内外でござんして夫から其葉で造り掲げました紙卷

煙草の數か凡そ三億万本位の數になつて居ります非常な數でございませう夫から此處に書てある此繪圖は自分共が先き達て太田で試めしをした温度の昇り降りの表でござんす初のが八月の三十日の午後に初めて……エー八月の三十日の午後初めたですが午後の七時に例之は此部屋ならば此部屋は一抔青い煙草を詰めて仕舞つて左うして七時に少し火を焚き初めて凡そ五時間即ち其日の午後十一時に八十二度までとし其少し火を焚いて五時間位の間は七十二度位で八十二度にしたのは部屋一杯を温める爲めにやつて其跡八十二度になつてから四五度上かつてから急に百十八度まで火を澤山に燃やして百十八度までにした夫は二時間の間に……其急に百十八度に上げたのは今の煙草の葉をまなひらかす萎凋させる爲めにやつた夫で百十八度になつてから丁度十分間斗り其儘に置いて今度は其火を皆取つて仕舞つて其部屋を冷や度して構はずに於て火を取つて仕舞つた八十二度で初めて其温度位に其部屋の温度を下けた夫が丁度次々の日の午前十時に八十五度になつた夫から今度は火を焚いて八十五度内外の温度を午後の十二時位まで一定の温度位にまで置いて一二度の昇り降りはありませうか其八月三十一日の午後十二時になりませうと大体に色か黄はんで來ると云つて一帯に黄はむのではござんせぬ段々端々の薄い方から黄はんで來て幾らか青い處も残つて居るか黄色く見へる様になつたのです其葉が一言に申さば黄色くなつたから今度は温度を少し上げて九十五度にして九十五度にしてから三時間か四時間其儘に置いて夜中の十二時位まで左うして置く左うすると一寸此邊位まで段々と本統に黄色く色か斯う付

て來る夫から今度は大概に黄はむ此邊まで黄はむから跡は漸々に黄はんで來るから段々に温度を上げて行くことになつて太田では百四十四度まで上げた遂に百六十六度になりました百度位りらして百四十四度まで上げる折りが一番六ヶ敷處より損ひは一番其邊で起る……やり損ひます温度が高ければ火加減をする低くければ火加減をして折り／＼部屋の中に這入て葉を見て之は(擧へ來りし煙草の葉を示す)やり損ねたんですか上は側に赤い星からよい／＼と見へますのは急に温度を上げ過ぎたので左う云時分には温度を……火をつほめるやうにする若し其反對で裡ら側り黒い色になつた折りは夫も温度が緩慢なのをよから今度は火を少し余計にして幾らか急に温度を上げる様にまで往うなければならぬ時々其部屋に這入て品物に當て温度の上げ下げをするには百度内外より百四十度まで上せると色も固着するも全時に乾かしても往きますか一番六ヶ敷いののですか一番失敗は此邊で起るて百四十度位迄に赤いは最う一面よツット色も黄はんで來て其黄はんだ色か固着して仕舞ひますから其先きは詰り茲の赤い星から跡の分は中の莖は乾きませぬから之を充分に乾す丈けて之から跡は氣長かに火を焚けば六ヶ敷い事はない此處等か一番肝腎の處てす此西ヶ原夫から此太田左うして此秦野に火の力で……火の力て煙草を干し上げる部屋か……乾燥室がある或は御覽になつた方もござんせよう若しおければ三ヶ所の中の孰れにても御出にあれば其品物に付て能く篤つりと御話も芝御覽に入れます夫て先つ左う云ふ風にすれば此三ヶ所跡先きて黄色い煙草を作るとか出來上るてすが已に今年て己に二年やつて

凡そ黄色い煙草を作るのが出来ましたか例之へは太田なり秦野なりて従來の煙草を作るのと經濟上  
 ドナラか得か損かは未だ穿鑿か届きませぬから西ヶ原に居る技師として之を作ると云ふことは未だ申  
 し上げられませぬ未だ其處までは届いて居りませぬから……亞米利加に於ての御話をすると煙草の産  
 地の中で黄色い煙草を造る場所が一番金を余計に得られ村も富有て學校其外の設備も外の煙草産地よ  
 り見れば能く生つて居る日本でも左うたらぬと思ひますが未だキツパリ御話は出来ませんが何にしる乾  
 燥するには六十八時間でございますが三日内外で一と通り乾燥が仕上がりますから彼是望があるやう  
 に少くとも思つて居ります十年程前までは日本では紙巻煙草は殆んどなかつたのまや今は澤山皆んな  
 が日々用いて居るのですが需用は必ずあるのです必ず間違かないので外國の煙草を實地栽培して見  
 れば亞米利加の様な品物か出来る品を干ま上げれば此通りに出来すうらして日本で之が出来ぬと云  
 ふことは思ひれぬたうら國に依ては新規の事とは一切しないと云ふ國があるけれども日本に黄色い  
 煙草を作れと云ふことは太田の煙草を止めてと云ふのではありませぬ新規に事を初められぬと云ふこ  
 とはあるまい新規なことではイカぬと云ふはライホレた國ではありますまい今度は其処迄て黄色い  
 煙草の御話を止めて置いて今度之葉で巻いた「シガール」巻煙草の話に移ります今此日本人では此煙  
 草を吸つて居る人がござんせぬけれども此先き十年後も立つたならば恐らくは人に逢ひましてもオガ  
 リなさぬりと貰つたりして色々研究の末自分共却て伺ふ事かないとも限られぬ（私しやない此人

のことと「アダムス氏」を指す）此煙草に付てマア歴史と云ふ自分の心得て居る歴史様な話をすると  
 千六百七十年に印度で巻煙草を作つて人民が吸つて居る其印度では其當時「ブニコ」と唱て居つた其次  
 に南亞米利加の「ニカラカ」と云ふ處で一千七百三十五年に「シセド」と云つて唱へて居る此「シセド  
 」と云ふのは……蟬に似て居るから日本て云へば蟬とても云ひまじやうが唱は違ひますけれど  
 も矢張り齊しく煙草で品物は同じものでござんす夫から亞米利加で巻煙草を使ひ初めたのは千八百三  
 十五年一寸七八十年前に「コンネクチャカット」の或る旅亭の女主人がやつて今の葉を以て來て今の丸い  
 印度や「シセド」ニカラカ「運河當りて作つて居るものを巻いて一人の客人もやつたものと見へる夫を  
 アッコのオカミさんに貰つたと云て吹かしたるに私も貰いたいとなつた夫で一々製して客人に贈る様  
 になつたものですツイ近年の事てござんす夫から其初めは家内御客さん斗りであつたが追々廣まつて  
 遠方から人が來て女主人一人ては造り切れぬから女主人が女を別に雇つて葉巻の方法を傳授した夫  
 が亞米利加の巻煙草の會社の出來た本は左う云ふことになつて居ります之うら其統計の数を一寸申し  
 ますが一番初めに千八百三十五年から南北戦争の頃までは亞米利加の中は……其戦争までは煙草の  
 租税がないからして作りたものは作り吸ひたいものは吸ひ自由にやり居つたが其戦争からして租税  
 がなくして此家では何本作るか何本作れば幾ら税を納めると云ふ届をせぬければならぬことになつた  
 千八百六十三年に記してある統計では巻煙草の数が亞米利加中で一億九千九百万個其税金が凡そ日本



の金にまで九十五万圓でござんす其税額が弗でありますから日本の金に直すと九十五六万圓に當つて居つた尙ほ十年の後千八百七十二年には巻烟草の数が十五億万個其十年前には二億万であつたが十年後には十五億万夫から其時の租税が千五百万圓でござんす其後に十年経て八十二年よりは三十億四千万夫から税金が三千六百五十万圓にあります大層殖へて居ります其十年後には九十二年ですり税金り少し下かりました其年は四十五億四千八百万租税は前からすると減つて二千七百二十九万圓夫から此亞米利加と西班牙との戦争が初つて其戦争の費用を出す爲め千八百九十八年六月十四日に少し烟草の税金を亞米利加政府で高くした左うして一千九百年に巻烟草の数が五十三億千六百万と租税が總体で四千百五十五万圓でござんす其今の千九百九十八年に亞米利加と西班牙との戦争で金が足らぬで云はゞ戦役税と云ふ風の特別の税にして紙巻烟草に税を課することとした巻烟草に千八百九十六万圓巻烟草に斯う云ふ風にするのは此乾燥とは違ふ栽培方は余計に違ふ此方になれば來た斗りて分らぬ處かあるけれども日本の中で南の方の暖い處ならば寧ろ出來るたらふで南の方でならば今の此の方が出來ると(今のとは煙草の葉に付て)此邊は氣候が煙草作に適するには此處等と見當を付けて居りますがマガイ煙草は眞に中に屑見た様な者が這入て居りますから私は屑を心(中葉)と云つて居りますが其屑を厚い葉てキリ／＼巻て其上を薄い葉で奇麗に包み一番上には其次には二枚斗り斯う云ふので包むさつちり包む新潟で其壯麗烟草を見に往つたですが此邊の類は出來やうかと云ふ氣持を以て來たで只今西ヶ

原で此東京の西ヶ原で有合の道具で極く小さい巻烟草を造り製造場を彼うやつて居りますから二三ヶ月立ちましたならば西ヶ原で拵へたものが御目に掛ることか出來まじやうホンの間に合せに此小さいので初をました二三ヶ月は掛りまじやう斯う云ふ御話をしましたなが長からく聞て下すつたのは難有心得で居る……此水戸の「ホテル」宿屋とも整つて居るし公園が大層に大きい大きな沼があり自分の生れた亞米利加にも大きな沼があつて景色も似て居る處がある其處で獵をしたり魚を取つたりする爲めに折り／＼來て見たいやうな氣持がする自然自分に相當した用がござんすれば自分の力丈けには御助成致をしますすら長い間清聴を煩はしました夫から一寸申し上げますが私共の場長を澤野と申します其澤野が大會に出ます筈でござんするが家に病人があつて郷里の方に公用も兼ね出張して居るので私共其澤野が來らぬと云ふの御断はり旁々茲に罷り出ました

### ◎水産業ノ改良ニ付テ

農商務省技師農學士 奥 建 藏 演 説

私は今日水産業の改良に付てと云ふ題を茲に掲げまて御話をすることに致しませす乍併此問題私共之から御話を致します事柄と果して全であるや否やは分りませぬが先づ斯う云ふ題にして置いて差支ないとして御話致します御承知の通り此日本は四面海で囲まれて居りますから魚も澤山居る漁業者の數

も余計である船の數も余計であるか一年に何れ位の産額があるかと取調へをすれば二千万圓からして三千万圓位の産額になつて居ります其中には御承知の通り北海道で取れます鮭とか鮭とか此邊で取れる鯉とか鮪とか鮑とか海藻とか種々の水族を集めて二千万から五千万圓位の産額になつて居ります其産額を日本で水産物から揚げて居て之で充分であるかと云ふのは實は嘆息はしい産額で非常に少ない産額でありますやうに私は考へます一寸鮭で御話をすれば日本で此北海道青森秋田當りで取れる鮭が一匹何の位の値段かと云ふと僅かに二厘で夫も鹽にしたりして賣つたりして粕にしたりしたものを平均すれば一匹か二厘で賣れて居る處か鮭なるものが獨り我國斗りで多く亞米利加でも歐羅巴でも取れて居ります其亞米利加當りの鮭の値段を見れば殆ど日本で只今申せました一匹二厘で賣れて居る値段に比へて十倍乃至十二倍に賣られて居ります何う云ふ鮭の種類かと云ふと鮭を只鹽に付けた丈けて亞米利加歐羅巴に参りますと十倍する十倍とすれば一匹二錢ですな一夫からして十五倍にすれば六錢位に賣れて居るのです夫から考へて割出して見れば日本で取れます處の鮭を一匹二厘で賣らされて居る夫を八厘に賣るとした處か十億圓位の産額になつて居ます夫ごから此鮭を取ても賣方さへ善く考へて鹽にするとう生にするとか工夫をすれば歐羅巴に賣る位に賣らない事はない殊に亞米利加當りに日本で取れる鮭を持って住けば二十五倍位の額なる夫ら考へれば鮭にしても支那に賣る處の海鼠とく鮑とく歐羅巴に賣れる處の寒天とく云ふものも大に研究すれば今日日本で年々に掲げて居る處の二千

万圓三千万圓よりは余程多くなると思ひます夫等を考へれば水産の將來は有望であることは最早私に申さんでも御分りと思ひますして見ればなせ日本では左ふ云う風に安く賣られて居りますかを考へ亞米利歐羅巴では鮭其他の魚の値段が善く賣れて居るかは原因はありまゝやうか私の考へては詰り今日日本の漁業者が致して居ります漁業の方法は詰り亞米利加歐羅巴で致して居るのと違つて居るから詰り日本で安く賣れるものか歐羅巴では高く賣れることと思ひます實は私は一昨年七月から昨年の五月迄亞米利加歐羅巴を廻りまして漁業地を見て参りました其處で左う云ふ感念を起しました夫に付て御話をしやうと思ひます詰り日本で魚を取る其魚を取る方法が亞米利加と何う云ふ点か違つて居るかと思ふと已に御聞き及びいかも知らぬか沿岸の漁業即ち近海の漁業は地引を引くとか或は湖水に以て往つて築を掛けるとか湖水の漁業は亞米利加に往つても日本と大した違はない日本と同じ地引を引くとか指し網とかを使つて居る鮭とか鮒とかオシヤウとか云ふものは何うかと云ふに非常に遠方の海に澤山居る魚で其魚を日本では何うするかと云ふに地引網とか指し網とかを使つて居ります亞米利加歐羅巴當りでは沖に出た時分は丸で違つて居ります夫が已に其日本の漁業者が取る處の魚を安く賣り歐羅巴亞米利加の漁業者が取つた魚を高く賣ると云ふ一ツの重なる原因であらうと思ひます無論富の程度入智の程度も關係をして居るかも知れませぬか兎に角漁業の方法が違つて居るから外國では魚が安く賣れる日本では安く賣らぬければならぬと云ふことになつて來るの原因と思ひます何せかと云ふ

と先づ亞米利加歐羅巴のことを御話致しますと亞米利加て其漁業に便て居ります處の漁具即ち船に付て御話を致しますと歐羅巴の船とも違ひます實は其漁船や何かの寫眞も私は先に撮つて参りましたり今日は持て來ませぬからありませぬから御覽に入れることは出來ませぬか他日御覽に入れることゝ出來ると思ひます其實物の寫眞を夫で其實況を御話致します亞米利加の船は歐羅巴の船と余程違て居る夫は何う云ふ点であるかと云ふと船が帆前船である親船としては小さな蒸氣船を使て居りますか夫は鱈を捕るにしても鮮鱈を捕るにしても帆前船を使つて居る其帆前船が随分大きな帆前船で大概四十噸から百三四十噸位の船で乗組人は七人から十二三人乗り込んで居る其船の構造は何うかと云ふと中は色々の部分に仕切つて居る船員の乗込む部屋とか漁具を入る部屋夫から食料を入れる部屋鹽を入れる部屋此鹽を入れる部屋と私共が豫想外の装置でありました漁業中入用なる鹽をドン／＼入れて置きます亞米利加の「プレスター」てありましたり百三十噸斗りの帆前船で鹽にしたり最う一つ水を入れる藏が出來て居ります此鹽を入れると云ふことは日本でも工夫をすれば出來ぬ事はございませぬ氷を入れると云ふことと面倒かも知れぬ漁業者が漁業に出で往くと云ふとき之は大變な効力があると思ひます氷を入れる庫が出來て居ります殆ど六つ位の部屋になつて居ります斯う云ふ風にして沖中に出で漁業をきて來るので船が付けは例のオシヤウと云ふのです比目魚の大きいのです五尺位のオシヤウを澤山に出す夫ら見ました處が氷庫の中にオシヤウが何百枚あつたり知らぬが氷を積んではお

シヤウと積み水を積んではおシヤウと云ふ様に一杯水庫に詰めて歸つて來居る左うして其處では揚げる機械が出來て居つてドン／＼揚げて居りますと云ふ様な風で亞米利加の漁船は簡單に申せば左う云ふ船で大体は其船を使つて漁業をして居る殊にオシヤウ漁業は盛んなる漁業であつて殆ど亞米利加では三千哩位沖合に出で漁業をしますから漁がなければ四ヶ月も五ヶ月も漂つて居つてオシヤウを捕つて居るので左う云ふ風にして亞米利加の漁業はやつて居りますが夫しや海岸の漁業は何う云ふ風にして致しますかと云ふとコナラで使つて居る様な小さい船を使つて居りますが詰り沖に出で前に申した構造の船を以て漁業を致して居ります例へばオシヤウを捕る鱈を取るにしても船の上で鱈ならば鱈のピン／＼をて居るのを「エラ」を取つて鹽漬けにするとか或は港に歸て生で賣らうとすれば氷に漬けて持て来て陸で賣ると云ふ風にする夫ら又鹽漬にまやうとするには船の上で船が漂つて居る間に魚を三ヶ月四ヶ月も貯藏をして維持して置けば宜いと云ふ目的でありますから捕る直ぐ「エラ」を取つて鹽漬けにまて氷の庫に詰めて居る左うして陸に持て來て賣ると云ふのです左うして生を賣はふと云ふ人は氷に漬けてあるやつを買ふのであります左うでありますから我々が實にいさの悪い處の魚を我々が日本で食へて居るとは丸で違て居ります左う云ふ風でありますから漁業者は此位の魚を捕つて之れ位は鹽漬けにする之位は生の儘持て來ると云ふ考をして自分の漁村を出るときから其覺悟をきて出ると全時に準備をきて参りますから船の上で色々のことを致しますわちらの魚は鹽にしても干した

魚にして我々が日本で食べて居る様な魚を漁業者が供給をえてやる様な事はございませぬ左う云ふ次第でありますから従てあちらで賣買をして居る魚の値段の高低とは明かの話で先年鯖を亞米利加へ持て往つた事があります處が之は逆も亞米利加人には食べられぬと云ふ事でありまして夫から何う云ふ譯かと段々調べて見ますと製造の仕方か違つて居る夫は何うと云ふと魚を捕る人が鯖を取るのに小さい船に鯖を積んで日に照られ雨に打たれて一日海中に漂つて居つて夫から戻つて來てから鹽漬にして人に賣らふと云ふ時分には殆んど其魚は腐て居ると云ふ有様であります日本で鯖を賣るのは重もに左う云ふ有様でありますてございませぬからして腐り掛つて居る鯖に手を入れて捕漬にえて亞米利加に持つて往つたのでありますから鯖の値段も悪るうつたが之と原料が悪るうつたので原料は今御話をする様に取扱ひが悪るし掛い様が悪ると云ふ左う云ふ鯖に付ては欠点がありましたが爲めに好結果を見なかつた其外にも樽が悪いと云ふ塩が悪いと云ふ事もございませぬたらぬか新鮮なるもの得られぬと云ふ事が重なる原因と思つて居ります夫が亞米利加に往つて見ますと只今申しました様に三千哩も四千哩も沖に出て漁業をする捕つた魚は只今申したやぬをやり方であります夫がオシヤウを捕る此オシヤウを捕ることも網で捕ると云ふことはしない釣であります亞米利加で之を捕りますか其鱈を捕るにも歐羅巴とは余程違つて居つて釣りで捕ります網で捕ると云ふことは余程少ないてございませぬからまて亞米利加で使つて居る漁船は帆前船を使つて居ります漁船は帆前船であつて重に釣り漁業をし

て居る或る魚に付ては巾着網で捕るのもございませぬ蒸汽船を親船にして小さい「ハッチャー」で網を下ろして捕つて居るものもありますか重に帆前船を使つて居ると云ふので今日亞米利加で漁業をえて居る有様である最う一つ亞米利加で面白いことを聞きましたのは私か蒸汽船を使ふかと聞きました處か歐羅巴に往て見ますと余程蒸汽船を使つて居る之から益々蒸汽船の數か歐羅巴に往くと殖へて往くとわらふと云ふことを聞て居ります夫が爲に亞米利加では使はぬかと思ふ處に船を走らして風か吹かうか波か立たうか蒸汽の船であれば自由であると思ふ處に往つて捕つて歸て來る事う出来るてわらふと斯う私か聞きました處り亞米利加の様な海か非常に荒らくつて左うして今の様に何千哩も出て釣りの漁業をするには蒸汽船では困ります事か多い夫が爲に亞米利加では蒸汽船は用いて居らぬと夫て今日まで亞米利加に用いられて居らぬ漁船は四十噸から百三十噸位の大きさの帆前船であると云ふこととございませぬ成程考て見れば亞米利加の様な遠くに出で漁業をするには帆前船でなければならぬてわらふと云ふことを思つて居ります夫からして歐羅巴の方を見ますと只今申しました様な漁業の方法とは違つて居て又面白い夫は何であるかと云ふに御承知の通り歐羅巴で漁業をする處は英國那威獨逸佛蘭西和蘭の五ヶ國てす伊太利とか澳太利亞とか云ふ國は漁業は進んで居りませぬ英國に往て見ますと英國では丸て亞米利加とは違つて居ります夫は何う云ふことかと云ふと蒸汽船てす蒸汽船を使つて漁業をして居る其船の構造は何うであるかと云ふと之も矢張り六十噸から百二十噸位の大きさの蒸汽

船を使つて居る其船の中は何う云ふ風に區劃してあるかと申しますと亞米利加と區劃は矢張り同してあります只選ふ處は蒸氣船でございませうからきて皆な石炭を使ひます石炭を入れます部屋丈り違て居る夫れ丈けのものか亞米利加よりも余計な區域を取つて居るのであります左うして其漁船か何う云うとをやるかと云ふとは亞米利加とは違て網の漁業をします爲めに釣は殆どしない御承知の通り英吉利と云ふ國は一すコナテ云へは朝鮮と云ふ風な位置で日本海か斯うあります魯西亞日本朝鮮と云ふ風て海て包まれて居て殆ど小さい湖水の様な形になつて居ります英國と丁度左う云ふ風で英國の前よりは黒海と云ふ海うあつて一方の對岸には那威獨逸佛蘭西伯耳義等てあります此海て非常に澤山の鱈が居るのであります其鱈を捕る爲めに英國ては蒸氣船を使て居ります其蒸氣船て使ふ處の網は打たせ網てあります其網は非常に大きなものでありますか蒸氣船に使ひまして其蒸氣の力て進めて往くと左うすると打たせか海の底を引さまして其処に居る魚を捕る續て比目魚の種類を澤山取つて居る鱈を捕ると云ふ様な事は外の方法て捕つて居る其蒸氣船を古から英國ては使て居つたかと云ふと左う云ふこととはない矢張り昔は帆前船てある處か其帆前船ては捕つた處の魚を貯へ又鹽漬にするにも其目的を達せられると云ふ處から風の方向に依ても都合が悪いと云ふ處から蒸氣船を工夫をして見た左うして漁業をして見た處か大變に結果り善くして今日ては蒸氣船の數か七百八百……九百殆んど千位もあるといふことである己に英國に於て有名なる漁村「クリムスベ」文けても殆んど五百艘もあると云ふこと

あります北海に於て打たせ網を以て鱈を捕つて居るのは今より五十年前からて其五十年前には帆前船て漁業をまて居つたか帆前船ては行ぬと云ふ處から蒸氣船にした其結果か宜しいので今日ては盛んにやつて居るのであります其蒸氣船にも鹽を積んで往く水も積んで往くと云ふ風てありますからて漁業者か漁村を出て往く時分に鹽漬にやうとするには鹽を積んで往く水も貯へて往くと云ふやうにして生のやつは新鮮の儘貯へて来る事か出来るやうにまて往く左うして船の上てやつて居る陸に歸つて來ると其邊に大きな市場かありまして其市場にも鹽もある水も出來ます夫てありますから船か着く直くにナマの魚を取つて水に漬けるとか薄鹽のやつは又鹽漬にすると云ふ風にてあります左うして其船の着きます處には汽車ありまして船り着くと其汽車に魚を積んで積み出すと云ふ様な工合に出來て居るのです其汽車は英國一般に連絡して居りますのであります夫て其邊の様子を段々聞て見ますと本々此邊には汽車はなかつたか打たせ漁業か盛んにあり船を大きくまて魚の味の佳い處へ業者が捕つて歸つて來るやうにあつたり爲めに汽車も出來たのである從て船に供給する……品物を供給する様な處も出來まして色々なものも賣買する様になつたと云ふ事てあります日常の需用と供給する店と云ふやうなものは出來たのであるか五十年前は極く小さい村てあつたと云ふことてあります其村り非常に繁華の村になつて居ります英國の漁業も盛んであります英國か亞米利加と其方法に於て異なる處は帆前船と蒸氣船と違りあるまて、大体は全してあります近海て漁業をするると云ふ方は又船

は違ひますか……今御話をいたしました打たせ網漁業は一ヶ月以上三ヶ月も四ヶ月も掛つて歸つて來ると云ふやうな左う云う漁業は蒸汽で漁業をするに違ひないか只近海で漁業をするにも英國の漁業者の話を聞くと蒸汽で漁業をしやうと云ふ計畫をして居ります其船の如きも話を聞いて見ますと一艘の船は五六方圓出ますと打たせ網なり其外の漁具とか何んど云ふものを交せましても七方圓位で出來ると云ふことでございましたてありますからして英國でも沿海漁業をして居る人は小さい船でやつて居りますか遠方に出て良い魚を捕つて歸て來やうと云ふ人は皆大きな船を造て……大きな蒸汽船を使つて居ります夫からして今度は和蘭の方に參りまして見ますと和蘭の漁業は英國とは又違つて居る何う云ふ處か違つて居るか云と船は帆前である和蘭と云ふ處は何う云ふ漁業をして居るか云ふと鯡の漁業である鯡の漁業は和蘭に於ては重なる漁業でありまして鯡と云へは和蘭々々と云へは鯡と云ふ位に歐羅巴當りてと話をして居るはと盛なる國である其和蘭て其鯡を捕りますには帆前船である此帆前船は普通のもので違つて上に甲板が張てある上の方に甲板の張てある漁船は普通の船にないのてあります山口縣當りては甲板の上に苫を冠せて置て漁業をやつて居りますかあ、云ふものに相違ないか純粹に船の上に板で天井を張てチャンと出來て居ります夫て其中は先刻御話をしたやうな氷を入れる處も食料を入れる處も鹽を入れる處も漁業者の居る處も仕切つてあると云ふ有様である從て船の大きさも余程大きな船で之も一ヶ月以上四五ヶ月位經て漁をきて來る捕つた魚は先に御話をした通りのやうて

詰り海の上で今申したやうなことに致して歸つて來る陸に以て來て賣買すると云ふ点に付ては亞米利加でも英吉利でも和蘭でも値打善く賣らうと云ふ方法に至ると大變な違ひなき其處で和蘭の對岸なる英國では蒸氣船にやうと云ふ傾を以て居るにも不拘和蘭人か之を蒸氣船にせず矢張り帆前船でやつて居るのは何う云ふ譯であるかと聞いて見ました處か蒸氣船は便利である魚の居る處を見れば蒸氣の力を借りて進んで往つて捕りますから魚を捕るには便利である其代り一方うら云へは費用が掛る石炭を入れる石炭を焚く爲めに人か入る蒸氣の機械か入ると云ふやうに附屬物か澤山に入るうら其方から來ると和蘭當りては宜いとは云はれぬ夫て殆んど今は船の數は何百艘あるか知らぬが蒸氣船は使はぬ事になつてあります併し昨年一艘の蒸氣船を造て經濟上の試験をきて居る若し試験をきた結果蒸氣船が利益かあるとすれば蒸氣船に致すか併し今日の處では簡便にして魚を捕るには帆前船が宜いと云ふことを云つて居る盛にやつて居るので要するに國の民度の程度夫から漁業の有様魚の種類海の模様等に依て其漁具の如きも代へて往くやうに外國でもして居りますやうに考へられる夫から獨逸に往て見ました見ました處か獨逸は御承知の通り海の部分は少い淡水漁業が多い川とか湖水とかに於て鮭とウグイとか云ふもの、漁業か余程盛に行はれて居る併し獨逸は又海の方の漁業に向ても獎勵をして居る先刻御話を致した英國の「クリムスベ」と云ひ亞米利加に往きました處か日本の漁村と比ぶるは大に違つて居る船を入れる處も魚市場も非常に大きく出來てやつて居りますから日本の漁村も斯うしなけ

ればならぬ云ふ考を以て居ります夫から英國の「クリムスベ」でも亞米利加とは違て汽車もある氷も製造し色々のか其處の都合の宜いものかチャンと設備か付て居ります殊に船渠も二十五か三十位ありまたたから英國か世界の漁業地であると感しました処か今獨逸の「フレーメン」……「グステメン」と云ふ処に往きましたた処の之は又一層大きな漁村であります之に對して獨逸政府か四五百万とか云ふ補助金を出して漁港を拵へて一昨々年出來上つたと云ふ漁港であります驚くほどの漁港でありますした今より思ひますきは和蘭でも澳斯太利に往きましたも「ケステメン」と云ふ処の漁港ほど大きな立派な漁港はないと云ふ位に感したのであります夫か夫と同時に獨逸政府は大に漁業を獎勵して居ります之も矢張り蒸氣船を使つて居つて左うして鮮や鱈や其他の魚を取つて居る其蒸氣船も帆前船も英國や亞米利加と殆んど全しやうな構造で船の大きさも全一位の船を使て漁業をして居ります從て其漁港の設備は魚市場もあり氷も出來て居ります夫からして其処には汽車も出來て居る鹽を供給する人も何んともあるのであります最う一ツ面白事漁業者の宿泊所か獨逸の漁港には出來て居て漁業者に便利を與へて居るのでしてさいますからして獨逸でも矢張り捕つた魚は……漁業をして捕つた魚と漁業者か成るべく値打ち良く賣らうと云ふ目的を先きに申したやうな英國や亞米利加當りてやるやうな工合の貯へて賣買をする様にしてある夫らえて伊太利當りになりますと何んにしても非常に不完全の組織でありますか亞米利加歐羅巴當りては魚を捕りますと左う云ふ風もえてやつて居ります夫と云ふ

いますからして魚を捕るべき人は魚を捕りに往くには色々な支度をして參つて捕つた魚は先刻御話したやうに去て賣買をする生て賣るのは此位の鹽にするのは之れ丈けのもの之鹽に去て賣ると云ふ風に漁業に往く時分から計畫をして往く夫でありますうら近海で捕つた魚を日本で賣買するやうに遠方に於て捕つた魚を賣買すること出來ます夫て私共か思ひますには日本でも左う云ふ考を以てしなければ水産か産業の中で重要であると申えても迎も私は今の小さい船で魚を捕つて其魚を腐らして賣るやうては……腐らぬまでも余程いさを悪くしたものを賣買する様にと永くして居ては何年立つても日本の水産業は重要な産業であるとは云へぬと思ひます何ふても船の構造を變へ漁業をする方法を更めて往くなければならぬと私共は考へて居ります夫てありますうら船は蒸氣船にした方が宜い又大きさは語り海の模様を見漁業に往く距離魚の種類漁業の方法等を夫々考て左うして計畫をせぬければならぬと思ひます要するに今日の日本の漁業船ては將來に於て日本の漁業を外國に誇ることの出來ぬのみならず一大産業とすることは到底出來ませぬ何う去ても船を改良する方法は前に御話をした方法にやつて參りまして方針をわゝ云ふ風に於て致ますれば今の日本に於ける一年の産額二千万圓と云ふものか二億三億四億位にすることは最も容易なる話で日本の一大産物と云はれるやうな望かあると思ひますから何うか此水産なる者は大した者である非常なる者であると云ふ様にするには漁業者も左う云ふ考て一つ充分に船の改良とすると云ふことにならば宜からうと思ひます其外に

漁業の組織がいかに思ひます漁業に従事して居る漁業者製造者販賣者のやり方も之も續いて之から變へて往かなければならぬと思ひ居ります夫等の話も致したいと思ひました跡で大勢御出てございますからして妙な御話でございませうたか他日又申し上るとに致します

◎農業安危ノ問題ニ就テ

農商務省技師農學博士 酒 勾 常 明君 演説

私ハ本日農業安危ノ問題ト云フニ就テ述ル等テコサイマス我農業ハ試ニ平穩無事ノ仮令ハ湖水ノ上ニ船ヲ行ルヤウニ進行シツ、アリマスルカ又々爾ウ云フ平穩無事ノモノト心得テ居ツテ宜シイカ何ウテアルカト云フト中々爾ウテ無ト思ヒマス此頃ハ頻リニ氣候ノ變更ニ就テ諸君モ御心配ニナツテ居リマス底氣壓ト云フガ往々現ハレントスル即チ或ハ風雨或ハ風波随分危険ナルモノカ我農業界ニモ起ツテ來ルテアラフト云フ心配カアルノテコサイマス故ニ此安危ノ問題ト云フコト今日述ヘルノテアリマスカ之ハ極メテ重要ナル問題テ又々極メテ廣大ナル問題テアリマスケレトモ尙ホ他ニ御話ニナル諸君モ澤山アリマサルカラ之ヲ極メテ短少ナル時間ヲ凡ソ十五分位ノ時間テ述ヘマスル而シテ諸君ノ注意又ハ諸君ノ記憶ヲ呼ヒ起シ度下思フ先ツ第一ニ御話ヲ見マシレハ即チ今同北清事件ト云フコトアリマシテ支那國ト日本其他各國ト大キク云ヘハ戰爭……先ツ混雜カアリマシタカ幸ニ先頃好結果ヲ奏シテ鎮定ヲシタ夫ニ就テ一方ハ支那政府一方ハ各國政府トノ間ニ約束カ出來マシテ其澤山ノ約束ノ中ニ支

那國ト各國トノ間ニ通商條約ヲ改正スルト云フコトカアリシマタ之ハ一國ノ物産一國ノ農商工業ニ餘程重大ノ關係ヲ持テ居ル如何ニ支那國ト我日本國トノ通商條約ヲ改正スルカト云フコトハ極メテ重要ナル問題テアリマスカラ當局ノ人ハ勿論世ノ中ノ有志ノ人ハ之ニ注意シテ居リマセウ其改正ノ一ヶ條トシテ往々聞ク處ニ依ルト支那國ハ今日穀物ノ輸出ヲ禁止シテ居ル外國ニ米ヲ賣ルコトハナラナイト云フコトニナツテ居ツテ隨ツテ日本各國ハ支那カラ米ヲ買ハナイ然ルニ段々日本ノ人口ガ殖ヘル其割ニ土地ハ殖ヘナイカラシテ何ウシテモ米穀ノ生産ト云フモノガ人口ノ増加ニ伴ハナイ、就テハ日本國デハ何國カラカ米ヲ得ナケレバナラン夫ハ何國ガ宜イカト云ヘバ支那ガ宜カラウ支那ハ今日澤山ノ米ハ餘リ有リ沃野千里ノ國デアリマスカラ此國デ將來外國ニ米ヲ輸出スルコトニ幾ラデモ出來ルト思ヒマス之ハ我農業ニ取リマシテハ最モ警戒ヲ加ヘ可キ問題デアツテ若シ支那ノ米ハ一石六、七圓、日本ノ米ニ比較シテ見レバ餘程安イ是ガ輸出ノ禁ヲ解カレ自由ニ日本國ニ這入ル事トナツタラバ今日ノ日本ノ米作ヲ壓倒シテ這入テ來ルニ違ヒナイ既ニ其例ハ我砂糖ノ如キ外國ノ砂糖ニ壓倒サレテ今日ハ三千万圓ノ砂糖ヲ外國カラ買テ居ル是ト同シ事ニ成テ支那カラ段々安ク米ガ這入テ來ルコトハ我國デ最モ大切ナル此米作ハ此農業ノ資本ハ凡ソ八十億圓デ其資本ノ大部分ハ水田ト云フ形チニナツテ居リマス此ノ洪大ノ資本ガ損害ヲ蒙ル之ヲ所有シテ居リマス地主ハ忽チ地價ノ暴落ヲ致シテ非常ナ損ヲスル又ハ米ヲ日本デ作ルコトガ引合ハナイナレバ日本ノ農業ハ衰滅デアル依テ此事ハ獨リ農業家已而ナラズ國家ノ



重大問題デ只ダ簡短ニ米ガ足りサウモ無イカラ支那カラドンノ輸入シタラ宜カラウト云フハ淺薄ナル立論デ議ス可キモノデハナイ世ノ中ハ只タ一方バカリ見テ一方ヲ見ナイ人カ澤山アリマシテ何ウモ輕操的ノ論カ立テラレル此場合ニ於キマシテ好ク農業者ノミナラス一般ノ實業者ハ確固タル意見ヲ立テナケレハナラン又タ餘程好ク注意シテ居ナケレハナラン仮リニ萬一ノ場合ヲ定メマシテ即チ支那ノ輸出ヲ自由ニスル斯ウ云フ事コナリマシタ時ニ日本ニ於キマシテハ最後ノ經濟策ハ何ウテアルカ其事ニ就テ只ク一言私ノ意見ヲ申シテ置キマス夫ハ即チ輸入税ト云フモノヲ掛ケテ日本ノ輸入港ニ於テ其關稅ヲ取ル其稅ノ額ヲ日本ノ米作ヲ壓倒シナイヤウ又タ米作ノ將來進歩ヲ妨ケナイヤウナ程度ニ於テ稅ヲ取リマスル斯ウ云フ事ハ外ニ無イテアヲウト思フ歐羅巴各國之モ段々人口カ殖ヘマシテ自國ノ產出スル處ノ穀物ヲハ足りナイ處テ又タ御承知ノ通り肉食仕マスルカラ其肉モ自分ノ國テ產スルノカ足ラン國カアル是等ハ外國ノ輸入ヲ以テ補フテ居リマス獨逸ニ致シマシラモ英國ニ致シマシテモ其通りテ今最モ穀物ヲ多ク供給シテ居リマスルノハ亞米利加テ續イテ露西亞稍ヤ小イ國ハ「もんがりや」此國ハ穀物ヲ外國ニ賣テ居リマス夫カラ又タ澳國及ヒ亞米利加ノ國ハ動物ヲ外國ニ賣テ肉ヲ供給シテ居リマス一方ハ其ノ外國ノ穀物動物ヲ買ヒマスカ其併シナカラ自國ノ動物ノ生産ニ壓倒サレナイヤウ又タ其發達ヲ妨ケラレナイタケノ稅ヲカケテ居ル夫ヲ課ケナイ所ハ英國ハカリテ英國ハ御承知ノ如ク自由貿易ノ結果カ何ウテアル此英國ハ穀物ヲ作ルハ全ク廢レテアル英國ノ農業場ハ多クハ牧場ヲ然ラサ

レハ以前ノ畑ハ多クハ貴族ノ遊獵地ニニナツテ居リマス英國ハ別問題テアリマス英國ハ兎モ角今日マテヤツテ來タカラ夫テ宜イカモ知レナイ之ハ御承知ノ通り廣大ナル殖民地カ世界ニ多クアル茲ニ於テ農産物ヲ產出シテ居ル又タ世界一等ノ軍艦又世界一等ノ商船ヲ持テ居リマス此軍艦ヲ保護シテ此商船ヲ我必要ナル穀物肉ヲ買テ居リマスカラ別段テアル我日本ハ爾ウ云フ所トハ違ヒ何ウシテモ米作ヲ壓倒サレテハ國カ亡ヒルコトハ誰テモ知ルコトカ出來ル蓋シ今回支那トノ通商條約ニ於キマシテハマ我國ニ害ヲ及ホス事ハ無カラウト思ヒマスカ諸君ト共ニ宜シク注意ヲ致シ度ト思ヒマス夫カラ此次にハ即チ農業ト工商業トノ關係テコサイマスカ日本ハ只今凡ソ人口ノ七割以上カ農業ニ從事シテ居リマセウ併シ此狀態ハ長ク續カナイ農業者ハ必ス商工ニ移ルニ相違ナイ隨ツテ外國カラ必要ナルモノヲ買テ外國へ賣テ金ヲ取ルコトハ少イト云フ有様テアリマス工業ノ發達モ國家ノ爲メニ希望スヘキ事デアル併シナカラ其結果ハ即チ農業ノ勞動者カ工業ニ移ツテ減スルノ方アル耕作人カ減スル斯ウ云フコトナリマス若シ今日ノ儘テ依然タル今日ノ農業ヲ襲フテ往タナナラハ小作人カ減シテ土地ヲ所有スル地主ハ是ヲ作ルコトカ出來ナイト云フコトナレハ即チ矢張り地價カ暴落シテ地主ハ損ヲスル日本ノ地價カ暴落スル之ニ對シテ如何ナル策カアルカト云ヘハ答ヘハ私ハ只ク簡短ニ出來ルト思フ今日ノ農業ノ規模ヲ大シシテ往クヨリ外ハナイ所謂田畝ヲ整理スル即チ耕地整理ヲ耕作スルニ牛馬ヲ使ヒ機械ヲ使ツテ以前ノ三人ヲ仕事事ヲ此後ハ一人ヲ出來ル十人ヲ仕事事モ三人或ハ一頭ノ牛馬ヲ以テ出來ル斯ウ云

フヤウニシテ行カナケレハナラン今日一町歩ヲ耕シタモノカ將來ハ二町モ三町モ一人テ耕作スル斯ウ云フ様ニ農業ノ規模ヲ進メテ往クノチアル是ニ就キマシテ農業教育ト云フ必要モ起ツテ來ル殊ニ地主ノ子弟ト云フモノモ自ラ巧ミニ耕スト云フ覺悟カ無クテハナラン小作人ト雖トモ同様矢張教育ヲ受ケテ而シテ今少シ農業ヲ經營シテ自ラ生活ノ程度ヲ高メテ行クト云フ必要カアル斯ウ云フニスレハ勞力者ノ減スルコトモ憂フルニ足ラン却テ農業家ノ生活ノ程度モ高マツテ參リマス子弟ノ教育モスルコトモ出來ル充分大キクナリマスカラ資本ノ應用ガ出來ル其ノ勞働者ノ減少ニ對スル方策ハ其外ニ無イタラウト思ヒマス今日ヨリ早ク注意ヲシテ政府ニ於テモ又々民間ニ於キマシテモ狼狽ヲシナイ様ニ勞力者カ減テ困ルト云フ前ニ一進歩シテ居ルコトヲ希望シテ置キマス第三ニ私ノ今日最後ニ申シテ置キ度ト云フコトハ農業ハ安心ノ業テアルカ危険ノ業テアルカト云フ事ハ極直接問題テ是ハ何人モ知ツテ居ル外國ノ諺ニ有名ナル米國大統領華盛頓ノ云フタ言葉ニモ農業ハ最モ堅固ナル安全ナル事業テアルト唱ヘラシテ居リマスルサレハ農業ノ利益ト云フモノハ商業ニ比較的少イ資本ニ對シテ報酬モ少イ資本ノ循環スルコトモ少イ仮令ハ商業ニ依テ二割ノ利ヲ得ルトスレハ農業ハ一割位ノ比例ニナツテ居ル併シナガラ夫デ甘シテ居ル最モ安全ナル業デ將來或ハ不景氣デ物ノ騰貴シテ需用供給カ屢々浮沈スルヤウナ事ガアリマシタナラハ農業ハ隨分危険デアル又々其財產ハ土地デアリマスカラ火ニ罹ツテ燒ケル事モ無シ消ヘテ無クナル事モナイ實ニ確實ナル不動産デアツテ而シテ其報酬モ安全ナルモノデアアル斯ウ云

フ事ヲ一般ノ人モ認メテ居ル然ル處ガ今日ノ實況ハ何ウデアアル隨分農業ハ危険デハ無イカト云フ有様ヲ爲シテ居ル其事ハ何デアリマスルカ私ハ主トシテ此水害ノ事ヲ唱ヘルノデアリマスガ實ニ各地ノ水害及ヒ風雨ノ害ハ甚ダシイ非常ナルモノデアアル此ノ風雨水害ノ爲メニ農業ハ隨分危険ノ有様ヲ呈出シタルノミナラズ只今申シマシタ確實ナル不動産モ或ハ石小石ヲ流サレテ所謂荒地ト唱ヘラレル之モ直ナニ恢復スルコトガ出來レバ宜イガ隨分永年ノ荒地ト變化スル所ガ澤山アル夫カラ又々此水害ト云フ爲メニ各地方土木費ト云フモノハ非常ナル激烈ナル増加ヲ來シマシテ是ガ爲メニ殆ンド地方ノカラ盡サントシタデ之ヲ負擔スルモノハ誰デアアルカ是ガ矢張地方デ大部分ノ農家ハ地租ニ對シテ掛ケルト云フモノデアリマスカラ殆ンド直接ノ負擔モ夥シクナツテ居ル是レ如何ナル理由ニ因ルカト云フト以前ハ決シテ風雨ハ今日ノ如ク甚ダシクナイ年代記ナドニ依テ見ルト云フト益々甚シクナツテ來タ此模様デ往キマスト農業者ハ危險ナル業デアアルト變化スルカモ知レン殊ニ我國ノ地勢ト云フモノハ幅カ狭クシテ中ニ此ノ高イ山カアル其山カラ流レテ來マスル水ハ瀧ノ如ク地勢カ狭イ爲メニ勾配ガ急デアルカラ其水ノ流レハ實ニ激シイノデアリマスカラ隨分大キナ石テモ砂テモ勿論小石ナトハ自由ニ水勢ヲ運シテ來ル之ハ亞米利加トカ亞細亞大陸ナトテハ見ル所カナイ大キナ石ヤ何ソヲ運シテ來ル殊ニ我日本ハ水害ニ罹リ易イ所デアルト云フノハ實ニ此ノ山林ノ問題ニ重キヲ置クノデアアル農商務省ニ於キマシテハ疾クヨリ着眼ヲ仕ナイノテハアリマセンカ思フヤウニ計畫カ立タナイノテコサイマセウ併シナカ

ラ先年ヨリ林野整理ト云フニ着手シテ非常ニ山林ヲ拂下ケマシテ其金ヲ急要ノ部分カヲシテ月々荒廢シタル山林ニ向ツテ恢復セシメ或ハ整理ナシツ、アリマス政府テモ益々此事ニハ務メネハナランノテアリマスカ又々民林ニ於キマシテハ各地方ニ於キマシテ何ウカ此水害カ起ラヌト云フヤウニ仕ナケレハナラン農業ハ危険ナルノミナラス地方ノ民力モ又土木費ノ爲メニ涸渴シテ仕舞フト思フ依テ之ニ對シマシテハ山林ノ問題之ハ獨リ山林家斗リテハナイ農業家モ相共ニ殆ト利害ヲ一ツニシテ居ル若シ我山林ガ好ク整ヒ居リマス即チ山林ハ海綿ノ如キモノテアリマスカラ充分水ヲ吸収シテ保存シテ居リマス依テ流レハ常ニ盡キナイ今日ハ吸収保存ト云フ事カ出來ナイカラ瀧ノ如クナツテ石ヤ土ヲ運シテ流レル田畑ヲ荒ス而シテ一雨ガ歇メハ忽チ水カ涸レテ仕舞フ山林ヲ好ク整ヘマスレハ山林ノ海綿ノ中ニ幾ヲ雨カ降ツテモ吸収シテ仕舞ヒ水害カ無ク却ツテ其水ヲ利用スルコカ出來ヌカラ此ノ山林ノ整理ト云フコモ亦農業安危ノ問題ニ對シテ是ハ重大ナルモノト思ヒマス凡ソ五分間程モ超過シマシタ先ツ今日ハ是ヲ終ルコニ致シマス

◎唐草ニ就テ

東京府農事試驗場長農學士 中 村 彦君 演說

私カ御話ヲ致サウト思ヒマスノハ那所ニ掲ケテコサイマス処ノ大ニ唐草ヲ栽培ス可キト云フ事柄ヲコサイマスノヲ一休此ノ唐草ナルモノハ我カ國ニ於キマシテ從來モ作ツテ居ツタモノテアル唐草ト申シ

マスト是ハ山陰道ノ島根縣簸川郡ト云フ所ニ於キマシテ餘程以前カラ栽培シテ居ツタモノテ有ルノテコサイマスカ農業界ニハ往々アル事ヲコサイマスカ其簸川郡ニハ二千町歩モ作ツテ居ルコモ拘ラス隣縣ノ鳥取縣其他我日本國ニ於キマシテ此唐草ヲ廣ク栽培シテ居ルト云フコハ全ク無ツタノテコサイマスル隨ツテ唐草ナルモノハ如何ナル形ノモノテアルカ如何ナル効能ノアル物テアルカト云フ点ニ就キマシテハ知ラナイ御方ガ多イノテコサイマス殊ニ此關東區邊リニ於キマシテハ知ラナイ御方ガ多イカト存シマス幸ニ私ハ鳥取縣ニ居リマシタ際ニ其ノ簸川郡ノ二千町歩モ作ツテ居ル処ノ實地モ目撃シテ居リマスルシ又鳥取縣一ノ試驗ヲ致シタ事モコサイマス又々昨年ノ秋カラ本年ニ掛ケマシテ東京府農事試驗場ニ於キマシテ是カ試驗ニ從事致シマシタカラ其成績上丈ニ關東區ニ於テハ栽培シナケレハナランコト承知致シマシタ由テ今日オ話スルコトニナツタノテコサイマスニ一体此ノ近年物價ノ騰貴ト共ニ肥料ト云フモノノ値段カ益々騰貴致シマシテ今日ノ所テハ彼ノ肥料ノ正味ト申シテ居ル処ノ窒素燐酸加里此内テモ窒素ノ如キニ必要テアリマスケレレ今日農家ノ求メマス處ノ此ノ肥シノ中テ最モ農家リマス勿論燐酸加里ノ如キモ必要テアリマスケレレ今日農家ノ求メマス處ノ此ノ肥シノ中テ最モ農家テ餘計ノ金ヲ拂ヒマスノガ窒素テコサイマス其窒素カ最モ今日騰貴致シテ居リマスカラシテ此窒素ヲ成ルダケ安イノヲ求メルト云フ事ヲ研究致シマスルノカ我農家ニ取リマシテ今日最モ必要テアラウト存シマス既ニ是等ノ点ニ就キマシテハ御承知ノ彼ノ御近附コナツテ居ル處ノ紫雲英トカ蓮華……水田

ニ生ヘテアリマス處ノ彼ノ蓮華ナトモ空氣中ニ在ル處ノ窒素ヲ取ル處ノモノコナツテ居リマス處ガ此  
 紫雲英ナルモノハ濕田ニハ甚タ不向テアリマシテ乾田ヲナケレハ殆ント之ヲ作ル處ノ値打ガ無イノテ  
 コサイマス  
 デ其ノ外此紫雲英ニ就キマシテモ紫雲英ノ使ヒ方ガ惡イ爲メニ紫雲英ハイカン藁ガ出來テ實ガ惡イト  
 云フ色々ノ非難ガアリマスガ夫等ハ今後各府縣ノ農事試驗場ニ於キマシテ研究ヲ致シマスルト輒ク其  
 害ヲ防ク事ガ出來ル、既ニ此ノ東京府ニ於テ紫雲英ノ使ヒ方ニ就キマシテ種々研究致シテ居リマス今  
 日最モ紫雲英ニ缺點トスヘキ事ハ濕田ニ栽培スルコト出來ナイノテ此事最モ缺點ノ中ノ缺點テコサ  
 イマスガ幸ニモ此ノ唐草ナルモノハ濕田ニ於キマシテモ誠ニ能ク繁茂致シマスノテ關東區ノ中テモ茨  
 城縣ノ如キ或ハ我東京府下ノ如キ濕田ノ多キ場所ニ於キマシテハ最モ貴重ス可キ作物テアラウト思ヒ  
 マステ東京府ノ試驗場ノ試驗成績ニ依リマスト云フ一移植ヲシタ移シ替ヘテ致シマシタ結果ニ依リマ  
 スト一反歩ニ就キマシテ紫雲英ノ方カ百三十九貫シカ取レテ居リマセン所ニ此唐草ノ方ハ四百貫以上  
 取レテ居リマス幾ント三倍程ノ收穫ガアルノテコサイマス、テ勿論此ノ唐草ナルモノハ乾田ニモ栽培  
 スルコト出來ルノテコサイマスケレレ今御話シマシタ点ハ濕田ニモ能ク出來ルト云フ專此事ヲモ今日御話  
 シテ置キ度ト思フノテコサイマス、濕田ニ作ルト云フ方カ申マスト是非移植ト云フ事ニ仕ナケレハ  
 ナランテ先ツ此ノ種ノ蒔キ時テゴザイマス是ハ九月ノ上旬カラシテ中旬位カ適當ナル夫ヲ移植シマ

ス時季ト云フハ春早ク即チ二月上旬カラ中旬ノ間ニ在ルノテゴザイマス爾ウシテ稻作ノ前ニ之ヲ収穫  
 スルト云フコトガ出來ルノテゴザイマス一體此ノ紫雲英トノ穀附ナルモノヲ較ヘテ見マスルト嶋根縣邊  
 リノ賣買ノ相場ニ於テモ五割乃至六割ノ相違カゴザイマス假令ハ紫雲英カ十貫目九錢テアルト云フ時  
 分ニ此唐草ナルモノハ十二錢ト云フヤウナ風ニ又タ唐草ノ方カ十貫目十錢テアルト云フ場合ニハ紫雲  
 英ノ方ハ六錢テアルト云フヤウニ實際ニ於テモ五割乃至六割方値段カ違ヒマス山陰ノ支場ニ於キマシ  
 テモ各地ニ此唐草ヲ集メマシタ成績ニ依リマシテモ即チ分拆ノ成績ニ依リマシテモ五割六割ノ窒素ヲ  
 持テ居ル紫雲英カ千貫目ノ中ニ窒素カ四貫八百目アルモノト見マスレハ此ノ唐草ニハ七貫五百目以上  
 持テ居リマス斯ノ如ク此唐草ナルモノヲ紫雲英ト較ヘテ見マスト窒素ヲ餘計持テ居ルノミナラス濕田  
 ニモ能ク出來ルト云フノテ唐草ハ最モ貴フ可キモノテ此唐草ヲ從來能ク作りマシタ籾川郡ト云フ所ハ  
 川ヲ見ルノニハ上ヲ向テ見ナケレハ見ヘン川底カ非常ニ高ク堤塘カ多クハ築カレテ居リマスノテ其下  
 ノ方カ水田ニナツテ居リマス山陰道第一ノ平原ト云ハル、處ノ平坦ナル場所テアリマスカ此籾川郡ニ  
 於テ此濕田ヘ以テ行テ唐草ノヤウナモノカ無ク此濕田ヲ遊ハシテ置タナラハ大變ナリテ此唐草アルカ  
 爲メニ此川カアリマシテ此田面ノ水カ年中溜ツテ居ル場所テモ此ノ唐草ノ力ニ依リ空氣ノ中カラ漠大  
 ナ窒素ヲ取テ居ル東京カラシテ此水戸ニ來マス間鐵道ノ兩側ヲ見マスト云フト實ニ濕田ノミト居ツテ  
 モ宜イ場所テアリマスわ、云フ所ヘ此唐草ヲ速カニ栽培シテ貫ヒ度ト思フノテコサイマス是ハ島根縣

或ハ鳥取縣或ハ山陰道ニ於ル處ノ實驗ノミナラス東京府農事試驗場ノ實驗上餘程能イ成績ヲ示シテ居  
リマスカラ本縣其他濕田ニ富メル處ノ地方ニ於テ栽培シテ賞ヒ度ト云フノテ大ニ唐草ヲ栽培セヨト云  
フ御話ヲ致シマシタ今日ハ極短ニ御話致シマス

◎蠶業獎勵法ニ就テ

中央實業會員 永井逸 曹君演說

エ、今賢明熟達ナル諸君ノ面前ニ於テ嗚呼ガマシクモ御話ヲ致シマスルノハ釋迦ニ說法ノ嫌ヒカアリ  
マス故ニ技術ノ事ハ他ニ譲リマシテ聊カ蠶糸業ノ爲メニ最モ急務タル事柄ニ就テ獎勵補助ノ順序ヲ仕  
ナケレバナラント云フ事柄ヲ本部ニ於キマシテ聊カ調ベマシタ要點ヲ申シマシテ參考ニ致シ度ト思ヒ  
マスカラお聞き苦シイデモ暫クノ間御清聴ヲ煩ヒマス  
昨日以來夫々名家ノ御演說ガアラレマシタ我國ノ蠶糸業ハ危存亡デアルト云フ事ヲ承リマシタ豫ネ  
テ諸君ニ於テモ其掲ゲテ居ルト云フヤウナ事柄ハ豫メ御承知ノ事デゴザイマスカラ爾ウ云フ事ハ申シ  
マセンテ概略搔摘シタ處ノ要點ダケヲ申上ゲ度ト思ヒマス我國ノ蠶糸業ハ歴史の講究ヲ致シマスルト  
先ツ古イ事ハ措キマシテ近ク百年此ノ方徳川家ニ於キマシテ各藩ニ於キマシテ蠶糸業ヲ獎勵シタト云  
ノ事ハ諸君ハ豫メ御承知ノ事ト存ズル去ル上ニ各藩ニ於キマシテハ御承知ノ通り仙台平トカ或ハ長野  
絹トカ甲州甲斐絹トカ夫々ノ藩ニ於キマシテハ獎勵ノ道ヲ取テ其中デ一番「キツスイ」ナル一番好ク出

來タ物ヲ獻上品或ハ御召品ト唱ヘ時ノ將軍ニ献上シテ其充分ニ出來タト云フ評名ヲシタ事ハ御承知ノ  
事ト存シマスル其仮令ハ一二ノ例ヲ引ヒテ申シマスレハ彼ノ仙台平ノ如キ仙台平ト申シマスルハ袴地  
デロザイマシテ目方百二十目位ノ目方ニ致シマシテ裏ヲ附ケマセンテ殿様ノ御供ヲ致シマスル時分ニ  
徒士カ袴ノ股立ヲ高ク取リマシテ股ノ窮屈ヲ感シナイヤウナ工合ニ致シマシテ脛ヲ現ハシテ殿様ノ御  
供ヲ致シマシタ夫ヨリ殿カ御着ニナリマスト袴ノ裾ヲ拂ツテ殿様ノ御前へ出立立派ニ折目正シク「ギ  
、シク」ナツテ居ルノカ仙台平ノ長所ニナツテ居リマス然ルニ今日學理カ盛ンニナリマシテ夫々意匠  
モ御講究ニナリ夫々染織學校トカ或ハ織物講習所カ出來マシタカ仙台平ナトハ以前ノ仙台平ナト、ハ  
雲泥ノ違テ値打ガナイ夫々費ス系ノ目方ニ於キマシテハ百五十目モ掛テモ思フヤウニ行キマセント云  
フ「三井織物部」ノ人ニ聞キマシタ目方ヲ澤山附ケマシテモ坐リマスルト裏返リヲシタリ或ハ變カ充  
分ニ旨ク行カナイト云フモノモアルカ是ハ何ウ云フモノテアルカ詰リ爾ウ云フ事ハ諸君カ御承知ノ事  
テテアリマスカラ技術ノ事ハ申上マセンカ日本ノ國家ニ於テ最モ重要ナル物産ニ對シテ歴史的日本ノ  
國家ノ上ニ獎勵ヲシタト云フ事ハ明カナ事テコサイマス然ルニ今日ノ蠶糸業ハ花客ヲ世界ニ持チマシ  
テ日進月歩横濱ノ港ニハ山ヲ爲シテ積出スト云フ夫カ爲メニ國家ノ命ヲ繫クト云フ「今日ハナツテ  
居ル其系カ海外へ參リマシテ日本ノ糸ノ不評判ト云フ事ハ數十年來耳ニ致シテ居リマス練減リカスル  
トカ何トカ云フ事ハ夫ハ生糸試驗所ト云フヤウナ所カラ耳ニ致シマシタ併シナカラスノ如キハ講究モ

アラセラレ或ハ事業ノ上ニ於テモ夫々改良致シテ居リマスルヤウニ聞及ヒマス  
 扱テ此重要ナル物産ニ對シテ國家ハ獎勵補助シテアルカト尋ネテ見マスレハ隨分明治初年ニ於テハ官  
 設ノ模範所ヲ富岡ニ拵ヘルトカ或ハ屑紡績ヲ政府事業トシ拵ラヘルトカ夫々官設ノ事業ト致シテ模範  
 所ヲ立テラレマシタ事ハ御承知ナコサイマセウ其當時ハ技術モ發達致シマセン爲メニ其處ニ出テ充分  
 ヤル人カ少ナカツタカ今日ハ爾ウ云フ技術ノ研究カ盛ニナリ必要ノ時代ニ至ツテ政府ハ之ヲ民間ノ  
 營利會社ニ拂下テシマツテ最早製糸ノ教育ヲスル處モナイト云フ有様テアルカ上ニ於テハ何ウカ日本  
 ノ蚕糸業ヲ復古スル……私ハ復古シタ方カ宜カラウ日本ノ蚕糸業ハ昔ノ方ニ却テ上手テアツタト云フ  
 歴証カアリマス、昔ハ養蚕ヲスルト云フ上ニ織物ノ出來ナイノハ先ツ誰カ種ヲ拵ラヘ彼カ糸ヲ取ル彼  
 カ織物ヲスルト云フヤウナ充分ノ責任ヲ以テ拵ラヘマステ品質カ惡シケレハ尻カ來ルト云フ有様、今  
 日ハ今申ス通り數千里ノ海外ニ得意ヲ持テ居ルカラ佛國トカ米國トカニ向テ是カ黒カ良イトカ練減カ  
 幾ラテアルカラ幾ラテ買テ呉レト云フコト耳ニ致シマセン只タ花客ノ來ルノヲ待テ居テ御方便任セニ  
 賣ツテルト云フコト夫ハ昨日來名家ノ申サレタ通りテ内國ニ於テ需用供給スルト違ツテ花客ヲ海外ニ  
 持チマスレハ海外ニ事カアツタ時分ニハ如何テコサイマセウ先達テ橫濱ニ於キマシテ亞米利加ノ大統  
 領カ不幸ニシテ刺客ノ爲メニ死タト云フ電報カアツタ時ニ糸ノ價カ十圓下ツタ一ノ電報ヲ見テスヲ糸  
 一苞ノ價カ十圓狂ハシタ斯ノ如キ事テアル餘程是等ニ對シ覺悟ヲ持タナケレハナラン以上述ヘマス如

クテコサイマス故ニ何ウカ此蠶糸業ノ上ニ於テハ政府カラ相當ノ補助ナリ或ハ獎勵ノ道ヲ仰キマシテ  
 海外ノ通信ヲ明カニ知リ夫等ノ点ヲ同業者ニ知ラセルト云フヤウナ測候費カ無ケレハナラント思ヒマ  
 ス軍サヲスルノニモ敵ノ即チ情况ヲ知ラナイテハ出來ナイ只タ五里霧中ノ中テ本年ハ亞米利加カ向キ  
 カ宜カラウ佛國向カ良カラウト云フヤウナ事テハ一電報ヲサヘ十圓ノ狂ヒヲ來スト云フコトアレハ餘  
 程ノ覺悟カ無ケレハナラン内地ニ於テ用井ル物ハ僅カ一國ノ損テアリマスカ海外貿易ニ及ンテハ明カ  
 ニ利害安危ノ事カアリマスカラ國家ハ充分ニ補護政策ヲ取ルコトハ世界各國カ國家ヲ保ツト云フ要点テ  
 アルカラ政府ハ事業ノ上ニ明カテナケレハナラント思フ其實例ヲ引キマスレハ近クハ佛國カ如何ニ蠶  
 絲業ヲ勵マシテ居リマスルカト云フ事ハ諸君ハオ耳ニシタ方モコサイマセウカト存知マスカ其金高ハ  
 日本ノ金高ニ致シマシテ十二万圓ハカリザツト補助シテ居ル詰リ此製糸家タケハ即チ機械製糸家ハ佛國  
 テ一國ヲ通シテ二百七十八箇所ゴサイマス其内ニ對スル金額テゴサイマス一釜ニ對シマスルト八圓ハ  
 カリノ金ヲ獎勵シテ居ル非常ノモノト思フ翻ツテ日本ノ三十年度ニ我々ハ當路ノ政府ニ懇請致シマシ  
 テ製糸業即チ政府ニ向ツテ直輸獎勵法案ヲ仰キマシタ其時ニ佛國ノ政府カ直ク其事ヲ耳コシテ日本テ  
 直輸獎勵法案ヲ出シテ獎勵スレハ我國ノ政府テハ重稅ヲ課ス輸入稅ヲ課スカ何ウテアルト云フコト打  
 電シタト云フ政府ノ内幕ヲ云フヤウテアリマスカ其一片ノ電報ノ爲メニ其案ハ間違ツタ案テアルカラ  
 何レ廢案スルト云フヤウナコトヲ答ヘテヤツタト云フヤウナコトヲ聞キマシタガ果シテ然ルヤ否ヤ次

ノ内閣ハ右ノ直轄法案ノ廢止案ヲ出シタ是ハ一瀉千里ノ勢ヲ以テセラレタカラ或ハ其邊モアルテアラ  
 ウ是等ノ一車ニ就テモ随分遺憾千方テアル糸ニ重税ヲ課スト云フ事ハ決シテ出来ナイ是ハ貿易品トシ  
 テハ半税品無税品テアルカラ重税ヲ課スルコトハ出来ナイノテアリマス日本カ見クヒラレテ大風呂敷  
 ヲ被セラレタノテアリマセンカ又昨年二十世紀ノ御祝ヒトシテ巴里ニ萬國博覽會カ開カレマシタ時  
 ニ佛國テハ日本カラハ何か出ルカ日本ハ蚕糸業國テアル……東洋ニ於テハ支那日本西洋ニ於テハ伊  
 佛、其他ハ養蚕モ出来マスカナイ日本テハ戰捷國ノ國家トシテ生糸ノ出品テアロウト其陳列所ヲ推  
 ラハタト云フ然ルニ日本テハ此内テハ憚リマスカ彼ノ財産家蚕糸業家ト云フモノカ見物ナリ觀察ナ  
 リヲ致シタト云フ事ヲ耳ニ致シマセン夫カラ彌々蚕糸ノ検査審査ト云フ時ニ日本ノ主務官長ニ其人ヲ  
 出スヤウニト云ハレタ時ニ我日本ノ人々ハ幾ント千人モ見物若クハ出品ノ爲メニ出掛ケマシタカ蚕糸  
 業者ハ一人モ無カツタト云フコトテ夫テ仕方カ無カラシテ京都ノ西村惣兵衛氏ノ番頭某ガ随分織物ノ  
 職ヲシテ居ルカラ生糸ノ方モ宜カラウト云フノデ検査ニナツタト云フ如何デゴザイマセウカ其審査ニ  
 臨ミマシテ西洋ノ検査委員ト云フモノハ夫々有名ナル織物會社ノ社長デアルトカ製糸會社ノ社長デア  
 ツテ日本カラ参リマシタ糸ノ品質ナドノ質問ガアツタ時ニハ只々其臆味ノ内ニ埋没セラレテ仕舞ツタ  
 ノハ甚ダ遺憾ニ思フ是等ハ別ニ政府ノ失策ト我々ハ云フノデハ無イ政府ハ百般ノ事業ガアリマスカ  
 一々手が届キマセン爾ウ云フノカアリマス此蚕糸業ハ餘程足列ヲ揃ヘテ覺悟ヲシナケレバナラン夫ニ

對シテハ茲ニモ掲ゲテアリマスル獎勵法案ハ歴史上ニ獎勵ヲシタト云フ事ガ國家ノ上ニアリマスカ  
 今後政府ニ於テ相當ノ獎勵ヲシテ此改良發達ヲ計ラナケレバナラン夫ハ何ウ云フ點ヲ以テ獎勵ヲスル  
 カ保護ヲスルカト云フト私共ハ一二ノ例ヲ舉ケレバ差當リ我々ハ本部デ調べテ見マシラ目下大ニ御  
 騒キニナツテ居ル雜繭乾燥等ハ未ダ試験ヲ仕マセンカラ是モ試験ヲ致シタイト私ハ思ヒマス又ダ消毒  
 ノ事モアル西洋各國ノヤウニ煉瓦造リノ家デ無イ日本ノ家ハ藁葺トカ板葺トカノ家デ餘程消毒ノ研究  
 モ仕ナケレバナラン其他糸ニ致シマスト四口取トカ或ハ六口取トカノ試験或ハ水室ノ試験ノヤウナ其  
 他ニモ澤山アリマスケレトモ先ツ以上ノ物ニ向ツテ組合事業デハ何ウシテモ事業ガ舉ラナイカラ政府  
 ニ獎勵ヲ仰キ是等ノ研究ヲシタナラバ宜ラウト思ヒマス又ダ蚕糸巡回教師ヲ置テ巡回セシメルト云フ  
 一ニスル今日ヨリ見マスレハ農事巡回教師ガアリマスガ蚕業モ農事ノ一部テコサイマセウケレテ詰リ  
 是等ノ事柄ヲ部分ヲシテ巡回教師ヲ雇フ夫等ノ費用ニ當テタラ宜カラウト思フ又蚕絲具共同購入テア  
 ルトカ云フ何ウシテモ個人テハ云フ可シテ決シテ行ハレナイ物ガアル是等ヘ政府テ相當ノ補助ヲ致  
 シテ官民相一致シテ其發達ヲ計ツタナラハ餘程秩序ガ立テ參ル今日ノヤウナ有様テハ年々種ノ品數カ  
 悪クナルナリマスカ其事ニ就キマシテモ其筋ヘ内願ヲシテ蚕種業ノ獎勵ヲシテヤリタイト云フト一  
 体足並カ揃ハナイノテ茶業ノ如ク農會ノ如ク夫々足並カ揃ツテヤルカラ政府ハ及スナカラ茶業ノ金  
 ヲヤツテル蚕絲業ノ如キハ足並ガ揃ハナイカラ何トモ干涉ガ出来ナイト云フヤウナ事柄ニナツテ居リ

マス是レ又々諸君ノ覺悟ヲ以テマシテ法律ノ上ニモ重要品同業組合ト云フモノカコサイマスカラシテ是カ眞先ニ蚕絲業夫等ノ組合ガ成立テ居ル又々出來マシタ處ヲ研究致シマスルト全國テ郡組合ガ八十箇所夫カラ縣組合カ聯合縣二十九箇所ハカリ出來テ居ルヤウニ存シテ居リマス何ウカ是等ノモノハ夫々相當ノ手續ヲスレハ直チニ補助ヲ仰カレルト思ヒマスカラ諸君ノ内ニモ組合ヲ御拵ヲヘコナツタ方モアリマセウガ夫等ノ手順ヲ運ンテ政府ニ懇請スレハ夫等ノ道モ立チマセウカラ……甚々長クナリマスカラ此邊テ御免ヲ蒙リマス……

◎農會ノ活動ニ就テ

農科大學教授農學博士 玉 利 喜 造君 演說

エ、今紹介者ヨリ御披露ユナリマシタ通り私ハ俄カニ此ノ聲ノ出テイ風邪ニ罹リマシテ實ニ閉口致シマシタ一昨日一寸貴下方へ御報告ヲ申上テ一昨晩カラ聲ガ出ナクナリマシタ昨日ハ終日臥シテ居リマシタカラ親シク讒事ノ有様ヲ拜聽スル事ガ出來マセンテシマ餘程注意致シマシテ療治ヲシタ結果是ダケユナリマシタカラ出來ルダケヤリマスカ若シ十分カ二十分ノ後聲ガ出マセンタツタラ夫テ御免ヲ蒙リマシテ甚々御聽キ苦シイテコサイマセウケレトモ是ハ止ムヲ得マセン  
 エ、農會ノ活動ト云フ問題ヲ掲ゲテ置キマシタガ是ハ農會ノ活動ニモ色々アリマシテ私ハ隨分長イ御話ヲ致ソウト思ヒマスガ併シ爾ウ長クモ出來兼ネマスカラ今日差迫ツテ農會テ仕ナケレハナラント云

フ事ヲお話シスル積リテ其後苦シクナツタナレハ止メマス極要点ヲ切々ニナツテ御話シ致シマスカラ前後スルカモ知レマセンガ何ウカ御容赦ヲ願ヒ度テス此全國各府縣ノ農會カ色々仕事ヲ致スノテアリマスカ其中ニ仕ナケレハナラン事ガアリマス夫ハ即チ繼續ニナツテ仕ナケレハナランコト其一ヶ條ハ博覽會此大阪ノ博覽會ノ折ニハ全國農會ガ相當撰拔ヲシタ品評會テ出品スル前ニ調へ上テ來テ其優等ノ品ヲ各府縣農會カ聯合出品ヲ仕ヤウスウ云フ決議ヲシタ併セテ現物ノ出品テ併セテ町村是ノ調査ノ出品ヲ仕ヤウスウ云フ事ニナツタノテ其趣意ヲ申セハ貴下方モ御承知テアルカ知レマセンガ一體此農會ヲ立テ農會カ何ウ云フモノテアルカト云フ事ヲ未タ世ノ中ノ人モ好ク知リマセントレタケノ事ヲスルカト云フ事モ分リマセンカラ是ダケ……一體全國ノ町村カラ「スツカリ」出來テ郡ニ郡カ「スツカリ」出來テ府縣ト云フコトヲ手ヲ携ヘテ農業界ノ足列ヲ揃へ齊々堂々ト進ミツ、アルコトヲ天下ノ人ニ其有様ヲ見セタイ上ハ聖天子モ御臨幸在セラレ政府ノ各大臣或ハ民間ノ政事家モ商業家テモ何テモ總テノ人カ來テ見ルニ相違ナイカラ農會ハ斯ウ云フモノテアルト云フコトヲ一ツ見セ度ノテ夫ハ何ウシタラハ宜カラウト云フト聯合出品ヲスルト云フノアス又々此撰拔スルト云フ事ハ今迄色々品評會ヲシマシタカ町村品評會ノ處カラ最早郡縣ノ品評會ニナルト餘程非難スル即チ細工ヲスル色々ノ細工ヲスル米ナリ麥ナリ大抵ハ一粒撰ヲスル或ハ甚々シキハ尙ホ全國品評會カラ種物ヲ買テ來ル人ノ物ヲ自分ノ物トシテ出品スルトカ即チ或ハ外國ノ品物ヲ買テ出シタ者カアリマス夫カ今日ノ品評會ノ方テアル夫



カラ一ツハ……何ウモ同シヤウナ「くだらない」物ハ宜シクナイ面倒シヤカラ其内カラ撰リ扱イタノヲ出シタラ宜カラウト云フ其方ヲ防クニハ系統的テアル村テ品評會ヘ出シテ撰リ上ツタモノヲ郡ノ品評會ヘ出ス郡テ撰リ上ツタモノヲ縣ノ品評會ヘ出ス縣カラ撰リ上テ夫ヲ博覽會ニ出ス全國カラ競争シテ出ス恐イ物ヲ出シテハ却テ邪魔臭イノテアル爾ウシテ撰リ上タモノヲ博覽會ニ出ス米麥大小豆藷此四ツヲ限ツテ是ハ博覽會ノ時聯合出品ヲ仕ヤウト云フノテ斯ウ云フ品物ヲ最モ大變能ク揃ヘテ裝飾棚ナトノ裝飾方ヲ一樣ニシテヤラウト云フ事テアリマスカラ品物ヲ揃ヘテ今度ノ博覽會ハ是迄ノ博覽會ニ新面目ヲ開タ新生面ヲ現ハスト云フコカ一步進ンテノ仕事テアラウト思フ夫テ一方テハ現物ヲ出シタ一方テハ非難スル人カ大分アル農會ハ何ニナルト云フ非難カ大分アルノタカラ品評會カ爾ウシテ撰リ上ケテ出シテモソソナ大シタ物テナイナト云フ事テ牛馬トカ何トカ云フト種カアツテ其種ヲ引クト云フ米ナトハ一村競争シテ出シタ配分テナイト云フ事テ甚ダ宜シク無イ其様ナ批評カアルトイケマセンカラ一方テハ撰テ出ス一方テハ根本的ニ出シテ村是ノ調査ヲスル一昨日千葉縣ノ監督者カラ標本トシテ千葉郡テアリマシタカ陸村ト云フ所ノ村是ト云フモノヲ示シタカ此村是ト云フハ所謂國是ト云フモノシヤ是ハ町村是ノ何ダルト云フ目的ヲ示シタモノテ或ハ農事調査ハ何ノ爲メニスルカト云フト其村内ノ農事改良發達ヲセシムルニ相違ナイ即チ村是ト云フハ町村カ是トスル處ノ方針ヲ定ムルノテ夫ヲ定メテ何ウスルカト云フト夫ヲ調ヘ上ルノカ農事調査ハ斯ウスレハ宜シイト云フ方針ヲ立ルノテ農

事調査ハ調査シタキリノモノテ又々跡ノ方針ト云フモノガ立ン村ハ去レハ何ウスルカト云フト方針ヲ夫々立テヤウト云フノテ一町村此村ノ繁榮ヲ計リ將來ハ如何スレハ宜シイト云フノガ農事調査テアル其材量ニ依テ將來是々ノ仕事ヲスレハ此村ガ繁榮シテ利益々村ノ自治体モ好クナツテ榮ヘテ行クト云フ町村是ト云フハ農事調査ガ進メルノテアルタカラ餘程精神ノ込モツタ名稱テアルノテス夫ハ何ウスルカト云フト一村内テ消費スル物額下駄ヤ雨傘ノ様ナ物テモ惣テ一村カ一年ノ費スモノ或ハ借金ノ利子ノ様ナモノヲ調ヘ……此調方ハ困難ト思フカ其借金ノ利子マテ數ヘテ又々貸シタ金ノ利子トカ其他農産物ノ収入ヲ數ヘテ其ノ収入ト支出ヲ數ヘテ見レハ大抵収支償ハン収支償フ所モアリマヌ夫ハ愛媛縣ト思フテ居リマヌカ是ハ確カ収支償フノテ其村テハ手機カ多イ處テ其反物ノ爲メニ償フヤウナ事テアルカ大抵ハ追付カナイ開處テ以テ収支ヲ差引テ見テ一年是タケ償ハン即チ村カ是タケツ、損コナル負債シテ行クコニナル途ニハ此村カ立行カント云フコトニナル其処テ村ノ者カ寄テ或ハ二毛作ヲスレハ麥カ幾ヲ取レル外ニ何ニ幾ラ夜業ヲシテ是タケノ仕事ヲスレハ何ウトカ草鞋ヲ作ルトカ細ヲ綿フトカスレハ織代ガ幾ラテ草鞋カ幾ラニ賣レルカラ夫ヲ以テ償フカラ田地ノ改良ヲヤレハ是タケノ収入カ増ストカ云フ事ヲ撰ンテスル事カアル其法ヲ定メタノガ町村是テ此町村是ヲ一郡ノ下ニ一村ヲ撰ンテ出品スル仕マセウト云フ事カ一昨年ノ全國農事大會ノ時ニ決議ニナツテ居ル現物ノ調査ト根本的ノ仕事ト其出品ヲニツスルト云フ事ニナツテ居ル殊ニ此撰振出品ノ事ハ此博覽會主務局ノ方ニモ斯ウ

云フコトハ決議ニナツテ居リマスカラ何ウガ其ノ主義ノ貫徹カスルヤウニ仕ナケレハナラン其結果カ知リマセンカ先程主務省ノ農商務大臣カラ出品ノ心得ニ出品スルニハ団体トカ組合トカ撰抜シテ出セト云フ事ニナツテ居リマス既ニ東京府ノ如キハ餘程是ヲ嘉納サレテ居リマス夫テ農會斗リニ限ラナイ色々ノ団体カラ出シマセウカラ商業デモ工業デモズナ其外カラ出スノモ撰抜シテ成ルダケ出サウト云フコト果シテ外ノ団体カラ出ルカ知リマセンカ農會ハ既ニ其決議モシテ居ルダケノ事テアリマスカラ是ハ是非行ツテ戴キタイ此事ハ既ニ各府縣農會ニモ又此大會來月開ク全國大會ニ於テ相談スルコトニナツテ居ル夫々當局者ノ方ニハ其後屢々持出シタ事ガアリマス中々撰抜スルト日ガ掛リマス彼ノ心得書トカ或ハ博覽會ノ規程ニハ出願ノ期日ガアツテ出品スル期日ガアリマスカラ中々夫ニ間ニ合ハナイカラ撰ンデズ彌々調べ上テ見レバ審査シナケレバナランカモ分リマセン併シナガラ其処ニ調べ上タ跡ハモウ容易ナモノガアルカラシテ猶豫ノ事ヤ外ノ事モ色々持出シテ居ツタ是ハ一ツ村農會カラヤツテ往カナケレバナランカラ何ウカ農會ニ從事スル諸君ハシツカリヤツテ戴キ度ト私ハ考ヘテ即チ此ノ仕事ヲ全國ノ實業大會デ公ケニ示スノデ我輩ハ斯ウ云フ事ヲシタノデ又色々ノ種類ノ人ニ示シ他ノ實業団体ノ標準ニナルコトヲシテ一ツヤツテ戴キタイノデ夫カラ一昨日モ申上マシタガ色々ノ調査ニ從事シタ斯ウ云フコトヲ申上マシタガ其調査ノ材量ノ餘リ寄ラナイノデ甚ダ遺憾ニ堪ヘナイデス中央ノ全國ノ農事會ト云フモノハ各府縣農會ヨリ成立テ居ル各府縣ガ寄テ全國ノ農事會ト云フコトニ

ナツテ居ル夫ガ中央カラ色々ノ目的ガアツテ調査スルコトヲ縣農會或ハ郡村農會ハ御照會シテモ夫ガ餘リ來ンヤウナ事デ其調査ガ來ナイヤウナ事デ一向費用ヲ爲ス事ガ出來ナイ目的ヲ達スル事カ出來ナイ成程大會ノ時決議ガアツテ或ハ政府ニ建議スルトカ云フコトハ今迄幾十ト云フ法律ガ改正ヲシタ目的ヲ達シタガアリマスガ何モ中央ニ在ル農會ハソノ仕事ニ限ツテ居リマセン夫ハ調査シタ一ツノ仕事テ此ノ一昨日御話シテ農事改良ノ成績ト云フ事農事改良ノ成績ノ調査ハ何ウ云フ事テアリマスカト云フ事ハ問合セテヤツテ往クノテコサイマスガ夫ガ寄テ來ナイノテ是ナトハ大切ナ事テ先日モ申上タ通り全國ノ所謂殖産上基礎ヲ維持ノ往キ尙ホ振ヒ興シテ往クト云フ手段ニコリヤ一出來タノテス夫カラ又々農會ガ立テカラ農會ハ何レタケノ事ヲ仕タカト云フ成績ノ事ハ五年ハカリハ何モノ居ラン何テモ農事ノ改良上何カ目新ラシイ成績ヲ舉タ事ハ無イカ有ル等シヤ夫ハ此方モ知テ居ル夫ヲ御互ニ天下ニ公コシテ置キ度爾ウシテ農業界ノ有志者ハ夫ヲ知テ置キ度有志家ガ知テ置テ爾ウシテ當局者ナリ政事家ナリ縣會議員ナリ夫々ノ人ニ能ク云テ聞セル材量ニスル左モナイト農事改良ノ事ニ金ヲ惜ムヤウナニナルトイケマセン僅ノ金ヲ惜ンテ大變擧クヘキ利ヲ舉ルコトガ出來ナイヤウデハナラン先日モ千葉縣ノ農會カラ報告ニナリマシタガ三要件種子ノ鹽水撰ミ短冊苗代繩ヲ張テ田ヲ植ヘルコト是ヲ三要件トシテヤツテ居ルト云フコト是ハ私ハ好ク知テ居リマス夫ガ四分通り成立テ居マスガ夫デ以テ其改良シタノト改良シナイノヲ比較スルト三割四割ト云フ所モアルシ或ハ六割迄ノ收穫ガ改良ノ方

ニ増シタト云フコトテ是ヲ平均スレハ三分ハ確カニ收穫ヲ増シテ居ルテ是ヲ全縣下ニ割當テ見ルト十  
 二万石テ金ニスルト百二十万圓ハ確カニ收益ヲ増シテ居ル爾ウ云フコトハ縣下ノ農會ノヤウナモノハ  
 好ク知テ居ルノミナラス他ノ縣ノ人モ何所ニ何ウ云フ事ガアルト云フ事ヲ知テ居ランケレハナラント  
 思フ夫テ無レハ農會ハ何ウシテ居ル農事試驗所ハ何ウシテ居ル農學校ノ生徒ハあれタケ出タガ一向何  
 モシテ居ラント云フ非難ガ出テハナリマセンカラ爾ウ云フ事ヲ調へ舉テ御互ノ參考トシテ知テ居ラン  
 ケレハナラント追々地方費ノ減縮トカ云フ事モアリマスカラ其流レニ卷込マレヌヤウニスルノテ中央  
 テスルコトハぼんノ一ツノ仕事テアリマノ斯ウ云フコトニ着眼シテ改良ノ目的ヲ達シナケレハナラ  
 ンカラ調査ノ事ヲヤルノテス夫ガ充分寄リマセンカラ遺憾千萬是ハ農會ガ自分テヤツタ仕事ヲ調へ上  
 テ農會全体ヲ維持シヤウノミナラス我々ハ日本ノ殖産界ノ中樞トナツテ仕事ヲスル積リテ即チ博覽會  
 デ標準ヲ示シ外ノ團體ガ勵ママカレテ往クヤウニ全体ノ實業上ノ中樞トナルト云フ希望テアルノテ實  
 際又タ今日夫ニ相違ナイ茲ニ此問題ノ農會ヲ別ニ立テ大會ヲ開イテヤルト云フ議案ガ出テ居ツタノテ  
 ス是ハ先日新潟ニモ出テ居リマシタ最ウ爾ウナツテ來タノテス農業界ハ餘程秩序ガ立テ外ノ一個一個  
 ノ方ト一緒ニ一向秩序ノ立ンノハ何ウモ悪イカラ一ツ飛ノケノ農會ハカリテ着々仕事ヲノ往カウト云  
 フニ相違ナイ私共モ其希望モ充分アル實ハ外ノ實業團體ニ對シテ可哀サウテス先日報告ガアリマシタ  
 ガ農會ノ分ハ好ク報告ヲシタガ外ノ團體ハ仕ナイケレトモ代表者ナドト云テ出テお出テタガ甚タお氣

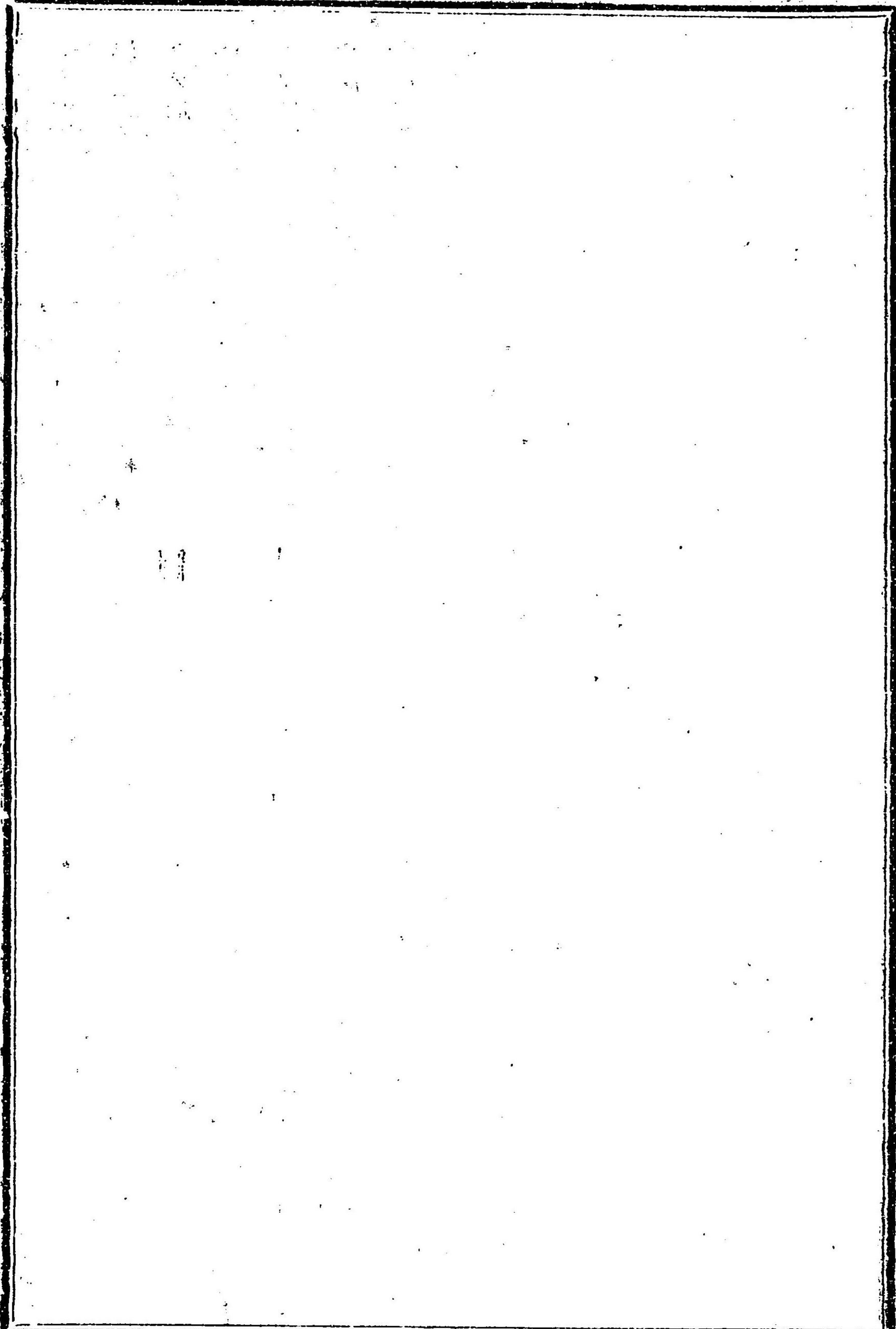
ノ毒テスナ三年四年ヤツテ居ル通り皆ナ其ノ農會ニ二年三年ノ後ニハ必ス大体爾ウ云フ事ニナルニ相  
 違ナイ農會ナトガ中樞トナツテ率イテ行カケレハナラント云フノガ其処ニアルノテス先ニ申上タ博  
 覽會ノ方モ其通り殖産會トカ實業會トカ農會ト云フモノガチャント立テ一ツ有リサヘスレハ外ノモノ  
 モ崩サレン農會ハ夫へ着眼ヲシテ將來ノ事モ考へテ人氣ガ斯ウ云フ工合ニナツテ來タア、シヤト云ツ  
 テ夫々ノ仕事ヲシテ行キ度是ハ獨リ農業界ノ爲メテナイ矢張人氣ノ崩レノ爲メテアル殖産業ニ費ス金  
 ヲ惜ムト云フヤウナルノガアリマスノヲ農會テ防イタナラ外ノモ防ガレル我田引水カモ知レマセンガ  
 夫ハ百姓ノ癖トシテ今日色々農會ノ大會トカ農學校デアルトカ試驗所デアルトカ色々ナ物ニ着手ヲス  
 ル処ノ金ヲ惜マナクナツテ來テ農業界又農會ニ從事スル人ハ殖産界ノ中樞ト云フ処テ以テ仕事ヲシ  
 テ戴キタイ今ノ調査ノヤウナノモ夫々大分聲ガ苦シクナリマシタ……夫カラ遺憾ナルノハ未タ其ノ下  
 級ノ……上級ノ農會ガ下級農會ヲ好ク引廻ハシテ往ク事ガ乏シイ先ツ關東區テハ稍ヤ夫ハアルノテス  
 又々事ニ依ルト好イ工合ニヤル所モアルガ外ノ所ハ何ウモ乏シイ夫カ甚タ遺憾ナノテス上級農會カ下  
 級農會法ヲ督勵スル任ニ當ルトカ或ハ法律ノ即チ農會法ノ條文ニ入レテ貫ヒ度トカ云フハ是ハ九州  
 カラ出タト思ヒマスカ有ルヤウナ次第テアル或地方テハ全ク縁故カ無イノテス我々共カ農會ヲ立テ貫  
 ヒ度ト云フヲ政府ニ建議シ迫リ之ヲ系統的テ無ケレハナラント云フ上級農會カ下級農會ヲ指導シテ  
 往クヤウニ系統的ニ組織シテ行クヤウニシタカ郡農會カ村農會ヲ指導シテ督勵シテ行クヲガ出來ント

云フノハ畢竟人物ガ無イノテアリマス是ハ好ク考ヘテ載キ度是ハ獎勵スルヤウニナツテ居ル夫ハ法律ノ精神テ勅令ノ方ニ出テ居リマス夫ニ就テ一寸申上テ置キ度ガ中央テハ優旗ト云フモノヲ拵ヘテアリマス私ノ云フ優旗ハまさるト云フ字テ優勝劣敗ノ優ノ字テス上級農會ガ下級農會ヲ率イテ往ク獎勵スル旗テス其旗ヲ柄木縣テ使ツテ居リマス千葉縣テモ少シ使ツテ居リマス神奈川縣テモ三ツノ郡テ使ツテ居リマス關東區テ使ツテ居ル所ハ彼處此處ニアリマス是ハ斯ウ云フ譯テ其旗ハ錦テ織テアリマス特ニ其字ノ模様ハ織出シテアル優ノ字ハ郡農會カ村農會ヲ率イテ……縣農會ハ郡農會ヲ率イテ往クニハ又々旗カアリマス郡農會ニ使ヒマス一寸優ト云フ字ハ是ハ小松大宮殿下ノ御筆テ……夫カラ縣ノ方ハ國本ト云フノテ是ハ我々共カ精神トシテ往ク農ハ國ノ本ナリト云フ精神テス其旗ヲ以テ村農會テ品評會ヲサセルトカ立毛品評會テモ何テモ競争サセル肥料ノ製造トカ勤儉貯蓄ノヤウナ事モ問題ニシテヤル問題カ無イナラハ其旗ハ農村風儀ノ矯正テモ何テモ此旗一ツテ競争サセル勿論夫ヲ調ヘ上ル方々今以テ六ヶ敷カ調上テ後一番優等ノ村ニ其旗ヲ遺ル一年間持タセテ翌年コナルト其旗ヲ又々或優等ノ村カ取ル爾ウスルト取ラレタ村テハ復タ夫ヲ取返ヘサウトスル其他ノ村カ取ラウトスルノテス其旗ハ極大功ナ旗テアルタカラ宮殿下ノ御染筆ヲ願ヒマシタノテ其旗ヲ取タ村テハ惣出テ迎ヒニ往テ夫ヲ護衛シテ行クト云フヤウナコトヲ神奈川縣ナトテヤツテ居リマス夫ハ餘程威嚴ノアルモノテ神聖ナル物トシテアルノテス丁度兵隊ノ軍隊ニ於ル聯隊旗ト云フヤウナモノテ此旗カ一ツアレハ夫ヲ奪ヒコラシ

テ大變ナ農事ノ獎勵ニナリマス此事ハ明治二十九年ノ頃カテ企テ居ツテ中央テ旗ヲ織リ出スヤウナコトニシテ文字ハ織ナドデハイケナイ機械デ其文字ヲ織出スノデ夫デ安クテ立派ナ物ガ出來ルデスカラ夫ヲ始メタノデ夫ハ郡ニ依テ其旗ヲ使ツテ村ノ村農會ヲ獎勵シテ行フト云フ事ガアレハ御申込ミニナレハ旗ヲ上ルコトニナツテ居リマス此邊ノ事モ知テ居ルカ居ラシカ知リマセンガ知テ置テ下サルコトヲ希望スルノデ夫カラ尙ホ申シテ置キマスガ中央カラ農事報ト云フノヲ出シテ居リマス是ハ農會ノ機關雜誌デヌ郡農會迄ハ全國ノ郡農會迄ハ無料進呈ノコトニナツテ居リマス村農會ナトハ一万三千ハカリモアレハ夫ニ無代デ進スル譯ニナリマセンカ是ヲ村農會ガ一冊位ハ取ルヤウニシテ賞ヒ度夫ニ毎回縣農會郡農會村農會ノ相當ノ劔ヲキガ出テ居リマス二ツ三ツ以上出テ居リマス是ハ農會ノ活動ノ資ニ供スルト云フ積リテヤツテ居リマス併セテ内外農事ノ形勢ガ知ルヤウナ機關ニシテ居リマス農業界ハウツカリシテ居テハナラント云フヤウナ事モ書テアリマス村農會ガ是ヲ御覽ナサルノハ村役場デ官報ヲ見ルト同様ノモノト我々ハ考ヘテ居ル何ウカ其加減デ見テ賞ヒ度中央デハ何ノ事ヲシタ何ウ云フコトハ無イカナド云フ事ヲ見テ戴キ度ノデ夫カラモウ一ツ言テ置キ度ノハ農會ノ名簿ヲ作り度ト云フ事デコサオマヌ一万有餘モアルデスカラ此農會ノ名簿ヲ作テ置キ度其役員ノ名ヲ書クノデスガ夫ヲ調ヘテ中央ニ出シテ賞ヒ度一ツ出版ヲ仕ヤウト云フノデ夫ニ合セテ特産物ガアルナレハ村ナラ村郡ニ渡ツテ居ルナラ郡デ書込ンデ賞ヒ度特産物ト云ヘハ梅田ニスレハ牛蒡練馬ナラ大根岩槻ナラ葱ト

カ云フヤウハ梅其村ノ特産物ヲ書込メハ全國ノ特産物ガスツカリ分ルヤウニナル又々農會ノ長トカ役員トカノ働タキノ上ニモ都合好クナルガ其材量ガ寄ラシテ出ル事カ出來ルノデ實ハ慨嘆ニ堪ヘンノデ縣農會デ其下ノ農會ノ役員ガ判ラント云フノハ甚タ何ウモ其意ヲ得ナイ郡長ガ其下ノ村長ノ名ヲ知ラレ村ノ名ヲ知ラシト同シタト私ハ考ヘテ居ル即チ縁ガ餘リ密デ無イカラデアルト考ヘテ宜イ是ハ調ヘ上テ物ニ仕タイト云フ積リデアリマスカラ是非縣農會デ纏メテ賞ヒ度是ハ互ノ便利デアリマス是ガ出來ンヤウテハ外ノ調査ナトハ出來ン尙ホ全般ニ渡ツテ一ツ私ハ申述ヘテ置キ度ガ農會ガ餘リ仕事ヲ仕ナイ或ハ縣テ仕事ヲシテ居ル郡テ仕事ヲシテ居ル爲メニ農會其自身ハ餘リ手ヲ措イテ居ツテ仕事ノ出來ン有様ノ地方モアル互ニ競争シテ瓜ルヤウナ所モアル也又々争ツテ居ルヤウナ處モアル是ハ甚タ宜シク無イコテアルノテ農會ノ仕事モ大變色々アリマスカラ決シテ一ニノ事ヲハ無イノテス畢竟ハ農業界ニヤル人カ無イノテセウ是ハ甚タ遺憾ノ至デアリマスガ農會ノ働ラキト云フモノハ斯ウ云フモノデアルト云フコトヲ御承知ニナツタラ左程六ヶ敷事テナカラウト思ヒマス其内テ一ツ我々共カ農會ヲ立テタノハ此ノ仕事ハ農業界ノ事ハ皆ナ其ノ農會ヲ仕ナクテナラント云フ事ヲ成ルタケ實業上ノ事ハ其當業者ガ自治的ノ精神ヲ以テ自ラ起ルヤウテ無クテハはんまテナイト云フ精神カラ農會ヲ始メタノデ此ノ前モ勸業ガ盛デアツタ是ハ明治十二三年頃デ是ハ餘リ獎勵ニナツタノデアリマスカ結果ガ餘リ其クナカツタ其時ニハ人民ノ程度ニ不相應ノ獎勵ニナツタガ是ハ人民自ラ起ツテヤルヤウ

ニシタ方カ宜イノテ一休ニヤツテ賞ヒ度ト云フノデス世ノ中ノ進歩ハ中々激シイカラシテ斯ナニ進歩ノ遅イモノヲ鞭撻シテ往クヤウニシテ成ル可ク自治的ノ精神デ名々ヤツテ賞ハナケレハナランシヤカラ是ハ何所カ何所マデモ自分デス可キモノデアルカラ夫ガ出來ン間ハ是ハ止ムヲ得ナイ願ハナケレバナラン願ツテヤツテ賞ハナケレバナランカ最初カラ出來ント見送ツテヤツテ賞フトカ手ヲ控ヘテ居ルヤウナコトデハイカナイト思ツテ居リマス并然ハ獎勵デ以テ成ルタケ民間デヤルヤウニ仕ナケレバナラン有志家モ矢張り其決心デヤランナラント思ヒマス是ハ出來ンナレバ仕方カ無イ出來ルナラ爾ウ云フコトニシテ賞ヒ度最少シ此ノ事ニ就テハ説キ明シタイケレトモ時間モカ、リ私モ苦シウコザイマスカラ是デ置キマス



26/8/26

明治三十五年一月四日印刷  
明治三十五年一月卅日發行

(非賣品)

茨城縣廳構内

### 第六回關東區實業大會

原籍茨城縣久慈郡佐都村大字白羽三番地  
現時茨城縣水戸市上市天王町十番地ノ二寄留

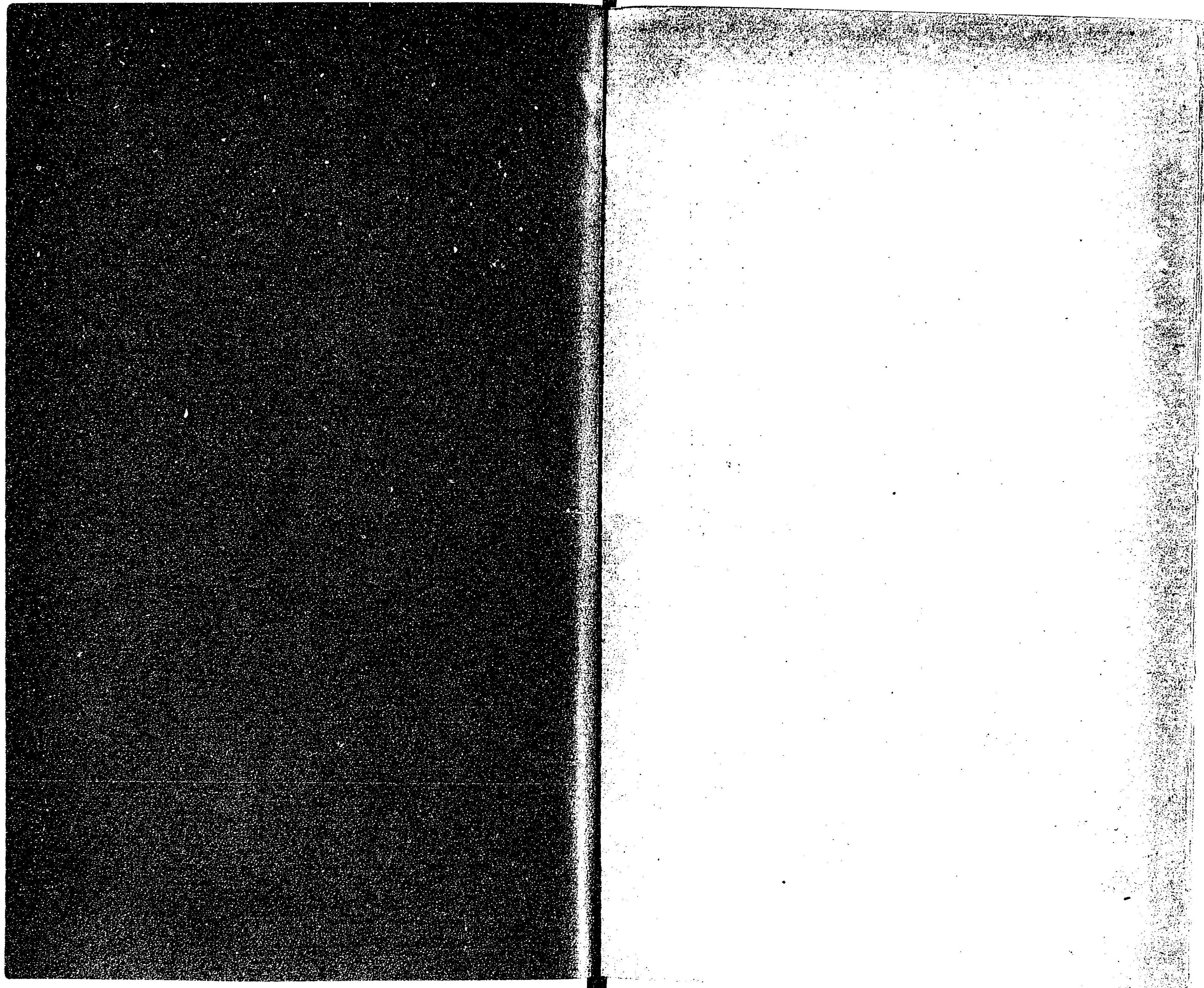
發行人 大津浩

茨城縣水戸市上市黒羽根町十二番地

印刷人 栗原敬恭

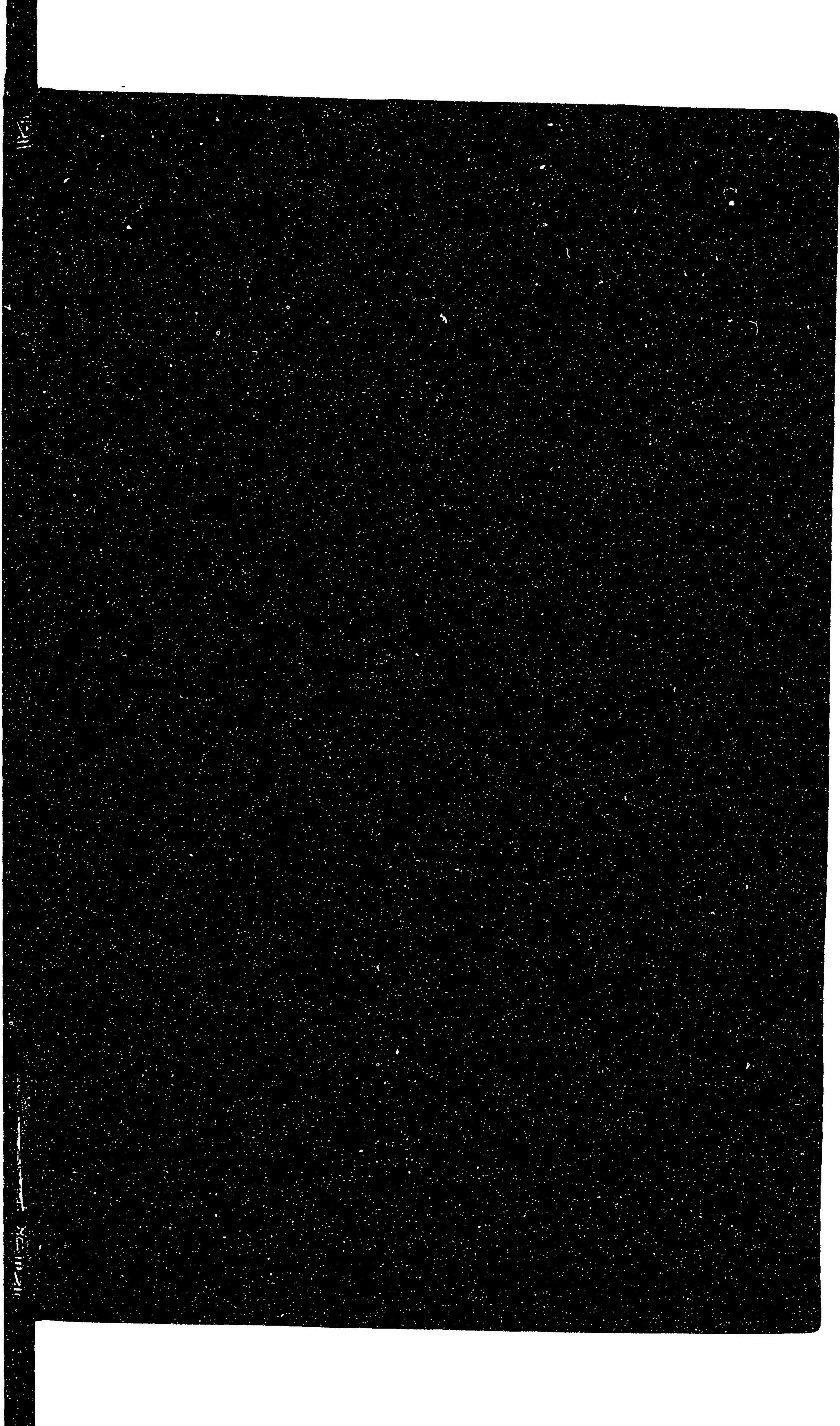
茨城縣水戸市上市黒羽根町十二番地

印刷所 茨城印刷所



84  
12





84  
12

041755-000-1

84-12

関東区実業大会報告(第六回茨城県主催)

第六回関東区実業大会事務所

M35

BDI-0306



